1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

年度 / 経費及び人数 / 形態	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	3,159	2	3,312	2	1,523	1	1,316	1	2,270	1	6,685	2	11,386	3	29,651	12
専門家	3,247	2	—		—		—		—		2,144	1	1,844	1	7,235	4
調査団	—		—		—		1,108		—		2,722	2	—		3,830	2
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	1,093		—		—		21,620		—		1,689		2,830		27,232	
その他	—		—		—		—		—		499		255		754	
合計	7,499		3,312		1,523		44,044		2,270		13,739		16,315		68,702	

(2) 形態別・分野別

分野 / 形態	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	12				3	2	4						1				1				1	29,651
専門家	4					1						2	1									7,235
調査団	2																		2			3,830
協力隊																						—
機材供与																						27,232
その他																						754
合計																						68,702

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

中央アフリカ

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
48年度	2						1						1									1,999
50 〃																						1,160
51 〃	2						2															3,312
52 〃	1						1															1,523
53 〃	1																				1	1,316
54 〃	1																1					2,270
55 〃	2					2																6,685
56 〃	3				3																	11,386
合計	12				3	2	4						1				1				1	29,651

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
46年度	2											2										4,316
47 〃																						24
55 〃	1					1																3,833
56 〃	1												1									4,674
合計	4					1						2	1									12,847

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業（特別機材）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
保健省		53								検診台，ヘルニア虫垂炎セット	21,620	21,620

〔開発調査方式技術協力〕

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）	
1	中小規模工業経済協力調査	（カメルーン，エティオピア，中央アフリカ，ナイジェリア）。中近東・アフリカ一般を参照のこと。	44	海	44.11.26～44.12.25	(8)	(2,805)	中央アフリカ

〔無償資金協力〕

実施促進調査

No.	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	医療機能強化計画	無償資金協力により供与される「医療機能強化計画」に係る契約促進上の諸手続の説明，及び，先方の計画における適切な機材選定に係る指導助言を行った。	55	55.11.15～55.11.27	2	2,722

チャード

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	—		—		—		4,772	2	—		—		—		4,772	2
専門家	—		—		—		—		—		—		—		—	
調査団	2,280		—		—		—		—		—		—		2,280	
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	—		—		—		—		—		—		—		—	
その他	—		—		—		—		—		—		—		—	
合計	2,280		—		—		4,772		—		—		—		7,052	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	2						2															4,772
専門家																						—
調査団																						2,280
協力隊																						—
機材供与																						—
その他																						—
合計																						7,052

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
53年度	2						2															4,772
合計	2						2															4,772

チャード

コモロ連邦

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

年度 / 経費及び人数 / 形態	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	–		–		–		–		–		–		3,521	2	3,521	2
専門家	–		–		–		–		–		–		–		–	
調査団	–		–		–		–		–		7,214	4	12,113		19,327	4
協力隊	–		–		–		–		–		–		–		–	
機材供与	–		–		–		–		–		–		–		–	
その他	–		–		–		–		–		665		–		665	
合計	–		–		–		–		–		7,879		15,634		23,513	

(2) 形態別・分野別

分野 / 形態	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	2				2																	3,521
専門家																						–
調査団	4												4									19,327
協力隊																						–
機材供与																						–
その他																						665
合計																						23,513

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
56年度	2				2																	3,521
合計	2				2																	3,521

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

番	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	救助艇建造計画基本設計調査	コモロ全島（3島）に配置が計画されている救助艇3隻の建造について調査を実施し，基本設計書を作成した。	55	特	55. 10. 2～55. 10. 21	4	6,154
2	漁業振興計画調査	漁業振興に必要な漁船，漁具・漁網等の供与に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56. 10. 8～56. 11. 3	5	20,963

〔無償資金協力〕

実施促進調査

番	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	コモロ・海難漁民救助計画 モーリシャス・漁業研究センター建設計画 マダガスカル・零細漁民振興計画，アンティラナナ畜産技術指導センター設立計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （コモロ，モーリシャス，マダガスカル）	55	56. 2. 18～56. 3. 13	(2)	(1,060)
2	マダガスカル・零細漁民育成計画，アンティラナナ畜産技術指導センター計画 コモロ・沿岸漁業振興計画，海難漁民救助計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （マダガスカル，コモロ）	56	57. 2. 8～57. 2. 23	(2)	(1,632)

コンゴー

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	—		—		—		1,253	1	—		2,098	1	4,262		7,613	2
専門家	1,577	3	—		—		—		—		—		—		1,577	3
調査団	—		—		—		—		—		—		2,722	2	2,722	2
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	—		—		—		—		—		—		—		—	
その他	—		—		—		—		—		—		255		255	
合計	1,577		—		—		1,253		—		2,098		7,239		12,167	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	2																1				1	7,613
専門家	3																				3	1,577
調査団	2				2																	2,722
協力隊																						—
機材供与																						—
その他																						255
合計																						12,167

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
53年度	1																				1	1,253
55 〃	1																1					2,098
56 〃																						4,262
合計	2																1				1	7,613

コンゴー

専門家派遣事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
48年度	3																				3	1,577
合計	3																				3	1,577

〔無償資金協力〕

実施促進調査

No.	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	道路整備計画	コンゴー国に対し無償資金協力の仕組について説明すると共に入札方式及び今後の実施スケジュールについて協議を行った。 また，当国に対する無償協力は今回が初めてであり，特に経済協力一般についての説明を行った。	56	56. 7. 7～56. 7. 20	2	2,722

ジ　ブ　チ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

年度 / 経費及び人数 / 形態	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	－		－		－		－		－		－		－		－	
専門家	－		－		－		－		－		－		－		－	
調査団	－		－		－		－		－		－		2,863	2	2,863	2
協力隊	－		－		－		－		－		－		－		－	
機材供与	－		－		－		－		－		－		－		－	
その他	－		－		－		－		－		－		255		255	
合計	－		－		－		－		－		－		3,118		3,118	

(2) 形態別・分野別

分野 / 形態	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員																						－
専門家																						－
調査団	2	2																				2,863
協力隊																						－
機材供与																						－
その他																						255
合計																						3,118

2. 事業別実績

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

版	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	経済技術協力調査	わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに，今後の協力案件の発掘を行った。	56	事前	57. 1. 6～57. 1. 16	2	2,863

ジブチ

エティオピア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

年度 / 経費及び人数 / 形態	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	190,100	180	38,360	21	37,404	15	26,115	9	48,680	15	50,991	20	31,300	13	422,950	273
専門家	333,768	57	50,414	13	37,553		18,157	1	842		—		—		440,734	71
調査団	329,665	103	58,072	9	697		304		148		807		630		390,323	112
協力隊	224,476	63	52,767	12	45,752	4	1,871		22,380	6	30,064	5	42,225	2	419,535	92
機材供与	173,853		37,099		4,421		2,112		2,494		16,802		9,968		246,749	
その他	2,207		2,648		—		—		—		—		—		4,855	
合計	1,254,069		239,360		125,827		48,559		74,544		98,664		84,123		1,925,146	

(2) 形態別・分野別

分野 / 形態	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	273	1	11	16	24	12	80	12		7	1	22	36	3	10		23		12		3	422,950
専門家	71	4		10		12	8	3				3	1	3			1		26			440,734
調査団	112				19		36					14	4	21							18	390,323
協力隊	92		3	2	11	17	15	11			3		7				7		15		1	419,535
機材供与																						246,749
その他																						4,855
合計																						1,925,146

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
34年度	6		1										4								1	20,073
35 〃	5						5															
36 〃	3						3															
37 〃	(1) 4		(1)			1	1						2									
38 〃	2						1							1								
39 〃	1												1									636
41 〃	9						5	1					2				1					4,896
42 〃	(3) 6		1				(3) 3	1									1					5,840
43 〃	11			1		2	4										2		2			8,996
44 〃	14		4				2	3		1			1		2		1					14,257
45 〃	(1) 16			1	(1)		8	2		1		1	1				2					12,734
46 〃	20				1	1	5	1		1	1	4	1				4		1			19,409
47 〃	15				2	2	4						1		1		3		1		1	14,364
48 〃	27		1		4		6	1				6	3	1	1		4					28,416
49 〃	(3) 22		1		2	2	(1) 4	2				3	2	1	(2) 1		1		2		1	33,507
50 〃	19			2	4	1	4	1		2		1	3		2							26,972
51 〃	21	1			6	1	10					1			1		1					38,360
52 〃	15		1	3	2	1	4					1			1		2					37,404
53 〃	9		2	3	1							2	1									26,115
54 〃	15			4	1	1	3					1	4						1			48,680
55 〃	20			1	2		4					1	8		1		1		2			50,991
56 〃	13			1			4			2		1	2						3			31,300
合計	(8) 273	1	(1) 11	16	(1) 24	12	(4) 80	12		7	1	22	36	3	(2) 10		23		12		3	422,950

（注）カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信、放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
33年度	1																		1			
34 〃																						
35 〃																						646
36 〃																						
37 〃																						
38 〃																						
42 〃	(1) 4					4							(1)									4,997
43 〃	(1)				(1)																	
44 〃	3							3														2,929
45 〃	12					8	1					3										14,237
46 〃	(2) 1					(2)								1								45,847
47 〃	(1) 2					(1)	2															19,868
48 〃	(2) 2		(1)			(1)	1						1									40,424
49 〃	(1)					(1)																43,219
50 〃	8			5										2			1					31,174
51 〃	13	4		5			4															60,701
52 〃																						39,987
53 〃																						20,269
54 〃																						931
合計	(8) 46	4	(1)	10	(1)	(5)12	8	3				3	(1) 1	3			1		1			325,229

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
47年度	38		1	1	8	2	9	3			2		1						11			37,548
48 〃	8					2	1						2				3					71,789
49 〃	17		2			3	4	1					3						4			98,533
50 〃	12			1	3	2		4			1						1					61,354
51 〃																						62,135
52 〃	4					1		1					1								1	48,436
53 〃																						2,175
54 〃	6					5											1					24,933
55 〃	5					2	1										2					47,673
56 〃	2							2														52,823
合計	92		3	2	11	17	15	11			3		7				7		15		1	507,399

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	移動無線通信装置	エティオピア政府	40	5,555
	（同上41年度支出分）		41	1,979
2	さく井機材	水資源審議会	45	14,280
3	さく井機材	水資源審議会	45	3,997
4	電気通信教育機材	電々公社	49	18,992
5	電気通信機材	エティオピア放送通信局	50	10,142
6	電気通信機材	エティオピア電気通信総局	51	15,660
計	6件			70,605

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

エティオピア

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	人数 新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
帝国中央衛生研究所 協定等の種類：R／D 署名年月日：43.7.18 協力期間：42～49 国内協力機関： 国立予防衛生研究所	帝国中央衛生研究所はエティオピア国における細菌，ウイルス，血清，寄生虫，疫学等の検査ならびに研究機関として中心的な役割を果たしている。 わが国は同研究所に対して当初，単発専門家派遣事業として専門家だけを派遣していたが，昭和43年7月実施調査団を派遣し，プロジェクト方式により協力する旨のR／Dを取り決めた。 協力の内容は，同研究所における寄生虫部門および衛生動物部門の2部門を新設し，この2部門に専門家を派遣して研究指導をするとともに，現地カウンターパートを養成し，エティオピア国における公衆衛生の水準向上に寄与することを目的としている。 これまで専門家派遣および研修員受入れを実施するとともに，新設部門に必要な研究用機械類を供与し，昭和49年度をもって協力を終了した。	42					—	1	…	実体顕微鏡	5,708	…
		43	実施調査	43.7.4～43.7.24	4	…	1	4	…	光学機械，医薬品	8,838	…
		44					5	4	…	分光光度計	12,167	…
		45	計画打合せ	46.2.3～46.2.23	2	…	5	大2 4	…			…
		46					5	特4 2	…			…
		47					3	2	27,837		特1,208	29,045
		48	計画打合せ	48.10.20～48.11.8	4	3,397	5	—	26,281		特 290	29,968
		49					1	—	1,060		特 25	1,085
天然痘対策 協定等の種類：R／D 署名年月日：46.12.17 協力期間：46～48 フォローアップ：49～50	WHOは昭和41年から痘そう撲滅計画を推進していたが，エティオピアにおける天然痘発生数が特に著しく，WHOは同国に撲滅対策の重点を置くこととし，昭和46年エティオピア政府は，わが国に対し，同国の痘そう撲滅計画への協力を要請してきた。昭和46年12月実施調査団を派遣，昭和47年，48年の2カ年にわたり，疫	46	実施調査	46.12.2～46.12.21	4	3,505						3,505
		47					—	1	3,985	天然痘対策車	特19,266	23,251
		48	計画打合せ	48.10.20～48.11.8	(4)	(3,397)	1	1	6,351		特 244	(3,397) 6,595
		49					1	—	3,448		—	3,448

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
国内協力機関：長崎大学	学専門家および青年海外協力隊員の派遣，疫そう対策車，無線機等の機材供与を行った。本プロジェクトは，昭和50年1月派遣専門家の任期満了により終了したが，計画開始後患者発生数が激減するなど，多大の成果をあげた。											

産業開発協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
一次産品開発協力基礎調査	日本・エティオピア両国間の貿易上のアンバランスを是正するため，開発輸入の対象産品の選抜と技術協力の方策調査。 協力の対象産品を油糧種子である「菜種」と飼料作物である「アルファルファ」にした。	47	基礎調査		4	3,004						3,004

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	マイクロ回線網建設計画調査	① No.1ルート建設計画	43	投	44. 2. 15～44. 3. 31	5	7,389
		アジスアベバ～アスマラ間約800 kmのマイクロウエーブ回線建設について電話トラフィックの現状及び将来性，既設通信系との関連調査。	44	投	44. 8. 5～44. 11. 24	8	30,935
			〃	報告書説明	45. 3. 17～45. 3. 31	2	
		② No.2，No.3，No.4の各ルート建設計画	45	実施調査	45. 8. 18～45. 10. 26	9	32,103
		No.2ルート：アジスアベバ～ティレダワ間	〃	実施調査	46. 1. 19～46. 3. 29	10	
		No.3ルート：アジスアベバ～シカシヤメネ間	46	報告書説明	46. 8. 9～46. 8. 23	2	4,829

エティオピア

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		番4ルート：アジスアベバ～ジンマ間					
2	港湾建設計画調査	マツサワ，アッサブの2港しかなく，どちらも規模が小さいため，両港の施設拡充と改善について早急に整備の必要があり，エチオピア政府より長期計画によるマスタープラン策定の要請があり，47年度第1次調査団を派遣し，調査したが中間報告の段階で終った。48年度においては，その報告書の内容に一部修正の要請があり，港湾計画のマスター・プランの中に船舶の修繕施設も含めることとなり，この調査を引続き実施した。	47	実施調査	47. 8.21～47. 9.18	7	10,138
			〃	報告書説明	48. 2.24～48. 3. 9	4	
			48	実施調査	48. 6.16～48. 7.18	4	16,103
			〃	実施調査	48. 9.24～48.12.21	4	

海外開発計画調査事業

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	中小規模工業経済協力調査	③（カメルーン，エティオピア，中央アフリカ，ナイジェリア）。中近東・アフリカ一般を参照のこと。	44	海	44.11.26～44.12.25	(8)	(2,805)
		④（エティオピア，ザイール，ザンビア）中近東・アフリカ一般を参照のこと。	45	海	46. 2.20～46. 3.24	(8)	(3,011)
2	長期電力開発計画調査	1957年に長期社会経済発展計画を策定し，1973年度は第3次5カ年計画の最終年で，電力開発は3次を通して最優先事業として実施されて来ており，今後も強力に推進される計画である。同国の要請により全土を対象とした長期電力開発計画を策定するため，調査団を派遣し，需要想定，電源開発計画，送配電計画，系統解析等の現地調査を実施。これにもとづき長期電力開発計画報告書を作成した。	48	海	48. 7. 7～48. 9.15	6	32,261
3	タナ湖周辺地域電力開発計画調査	タナ湖周辺地域の電化計画に関し，F／Sの一環として事前調査を実施した。51年度はティス・アバイ発電所の出力増強のためタナ湖調整堰建設計画および，この計画で得られる電力を同国北部地域へ送電する計画について50年度に実施した事前調査に引き続き，フィージビリティ調査を実施。	50	海	51. 3.11～51. 3.31	6	16,067
			51	海	51. 9. 1～51. 9.27	8	57,334
			〃	海	52. 3. 7～52. 3.19	1	

資源開発協力基礎調査事業

エティオピア

No.	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	西部地区資源開発協力基礎調査	エティオピア政府の要請に基づいて調査団を派遣し，鉱物資源賦存の可能性を調査したもので，対象地域は西部のアソサークルムク地区（約8,000 km²）メンディートボ地区（約400 km²），ゴルダナービラ地区（1,600 km²）で，地質調査，写真地質調査，地形図図化のための作業を行った。	48	資	48. 4. 19～48. 6. 10	4	64,749
			〃	資	49. 1. 24～49. 5. 20	10＋(2)	
			49	資	50. 3. 1～50. 3. 23	3	100,915
			〃	資	50. 3. 1～50. 3. 31	4	
			50	資	50. 4. 1～50. 6. 10	(4)	5,307
			〃	資	50. 4. 1～50. 6. 12	8	
			51	資		0	2,522

ガ　ボ　ン

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	1,076	1	－		－		7,272	3	6,818	3	15,882	5	52,342	11	83,390	23
専門家	－		－		－		－		－	1	30		－		30	1
調査団	4,321		－		34,127	4	13,253	2	5,435	1	911		－		58,047	7
協力隊	－		－		－		－		－		－		－		－	
機材供与	－		－		－		－		11,907		－		－		11,907	
その他	－		－		498		247		692		－		－		1,437	
合計	5,397		－		34,625		20,772		24,852		16,823		52,342		154,811	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	23							8			3		1				2			8	1	83,390
専門家	1										1											30
調査団	7										7											58,047
協力隊																						－
機材供与																						11,907
その他																						1,437
合計																						154,811

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
45年度	1										1											1,076
53 〃	3							1			1										1	7,272
54 〃	3							2			1											6,818
55 〃	5							3									2					15,882
56 〃	11							2					1							8		52,342
合計	23							8			3		1				2			8	1	83,390

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
54年度	1										1											30
合計	1										1											30

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No.	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	農業開発機材	農業省	54	11,907
計	1 件			11,907

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

ガボン

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	西アフリカ漁業開発調査	（ガーナ，ガボン，サントメ・プリンシペ） アフリカ一般を参照のこと。	51	事前調査	52. 3. 3～52. 3. 31	(8)	(4,321)
2	水産資源調査	ガボン共和国政府は，第3次5カ年計画（1976～80年）の一環として，水産業開発計画を策定し，同計画推進のため，昭和51年12月わが国の協力を要請した。 ガボン沿岸水域は，豊富なカツオ漁場であり，また同国との友好関係を維持するため，わが国は上記要請に応ずるべく，昭和52年3月事前調査チームを派遣し，また同年9月には，協力計画協議チームを派遣し，調査内容の協議を行った。 本調査は，オムボエ周辺水域における沿岸水産資源を明らかにし，ガボン国小規模漁業の振興に資することを目的として，底曳き網ほか各種漁具を使用して上記水域における底魚，浮魚の魚獲試験を行うものである。 昭和53年度においては，5月から約4カ月間，2名の調査員を派遣し，わが国より供与した調査船を使用して試験操業を実施した。	52	水産資源	52. 9. 3～52. 9. 18	2	2,803
			52	水産資源	52. 11. 1～53. 3. 31	2	30,453
			53	水産資源	53. 5. 25～53. 9. 15	2	11,895
			54	水産資源	54. 5. 23～54. 6. 23	1	2,293

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
ガボン，カメルーン林業開発協力	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （ガボン，カメルーン）	54	基礎一次調査	55. 2. 20～55. 3. 8	(4)	(3,033)
		55		（報告書作成）		(911)

ガンビア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	822	1	–		–		1,997	1	1,371	1	–		3,571	1	7,761	4
専門家	–		–		–		–		–		–		–		–	
調査団	–		–		–		–		–		11,260	4	3,184	2	14,444	6
協力隊	–		–		–		–		–		–		–		–	
機材供与	–		–		–		–		–		–		–		–	
その他	–		–		–		–		–		665		255		920	
合計	822		–		–		1,997		1,371		11,925		7,010		23,125	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	4		1				2				1											7,761
専門家																						–
調査団	6				2						4											14,444
協力隊																						–
機材供与																						–
その他																						920
合計																						23,125

ガンビア

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政 開発計画	計画・行政 行政	公共・公益事業 公益事業	公共・公益事業 運輸交通	公共・公益事業 社会基盤	公共・公益事業 通信・放送	農林・水産 農業	農林・水産 畜産	農林・水産 林業	農林・水産 水産	鉱工業 鉱業	鉱工業 工業	エネルギー	商業・観光 商業・貿易	商業・観光 観光	人的資源 人的資源	人的資源 科学・文化	保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
45年度	1						1															822
53 〃	1		1																			1,997
54 〃	1						1															1,371
56 〃	1										1											3,571
合計	4		1				2				1											7,761

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	漁業振港計画基本設計調査	ザンビア国開発調査事業No.4を参照のこと。	55	特	56. 1. 5～56. 1.15	4	

〔無償資金協力〕

実施促進調査

No.	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	ギニア・ビサオ・ジュバ川流域稲作開発計画 ガンビア・漁業振興計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （ガンビア，ギニア・ビサオ）	55	56. 2.28～56. 3.16	(2)	(1,349)
2	輸送力増強計画	本計画について今後の実施スケジュールについて，ガンビア国政府と協議を行うと共に，わが国の無償協力の仕組みについて説明を行なった。なおガンビアは，在セネガル日本大使館が兼轄しており，同大使館と本件についても打合せを行なった。	56	56. 11. 30～56. 12. 14	2	3,149

ガーナ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	214,332	174	38,595	22	59,563	22	38,826	22	47,590	23	64,781	24	91,540	29	555,227	316
専門家	492,940	73	94,808	11	112,370	7	148,059	12	127,534	7	123,943	14	106,413	7	1,206,067	131
調査団	214,079	35	10,615	25	13,677	3	8,057	2	19,552	8	19,684	4	7,616	4	293,280	81
協力隊	－		－		33,955	12	66,015	18	108,647	20	113,339	19	183,798	27	505,754	96
機材供与	272,398		39,561		76,137		84,004		170,436		158,492		61,283		862,311	
その他	5,449		4,280		1,559		2,215		2,660		2,991		2,171		21,325	
合計	1,199,198		187,859		297,261		347,176		476,419		483,230		452,821		3,443,964	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	316	8	14	1	20	12	76	22		4	14	1	48	2	13		16		54	3	8	555,227
専門家	131	1	3	1	2			3	1				27				5		87		1	1,206,067
調査団	81	1				22	6	5					10				2		21		14	293,280
協力隊	96	1	1	1		18	5	8	1		2		9				45				5	505,754
機材供与																						862,311
その他																						21,325
合計																						3,445,964

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

ガーナ

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
36年度	5						5															9,047
37 〃	13		10			3																
38 〃	3					1	2															
39 〃	(1) 10				(1)			3					7									8,206
40 〃	(1) 7						4	(1) 2		1												4,910
41 〃	18				12		2						1				1				2	12,227
42 〃	8						2	1					4				1					14,296
43 〃	(1) 10				(1)		5	1					1		2				1			10.842
44 〃	11		1				1	3							1				3		2	10,102
45 〃	(1) 7		1				4	1					1		(1)							6,290
46 〃	10				1		1	1					3	1	2				1			11,692
47 〃	(1) 16				2		5						4		(1) 2				3			18,784
48 〃	15					1	7	1					3		1		1		1			22,804
49 〃	21				2	1	6				1		2						8		1	42,961
50 〃	20	1	1			1	8	1			1	1	1	1	1		2				1	42,171
51 〃	(1) 22	1					5	1		1			3		1		(1) 2		7		1	38,595
52 〃	22	2				1	4	2			2		2		1		3		5			59,563
53 〃	22	1					4	1		1	6		1				1		7			38,826
54 〃	23	1					7			1	3		1		1		1		8			47,590
55 〃	24	1					3	3			1		5		1		4		6			64,781
56 〃	29	1	1	1	3	4	1	1					9						4	3	1	91,540
合計	(6) 316	8	14	1	(2) 20	12	76	(1) 22		4	14	1	48	2	(2) 13		(1) 16		54	3	8	555,227

（注）カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

ガーナ

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	1																		1			5,469
36 〃																						
37 〃																						
38 〃	1			1																		
39 〃																						△25
40 〃	8							1					7									474
41 〃	2				2																	5,947
42 〃	2							1	1													4,534
43 〃																						1,905
44 〃	1																				1	1,259
45 〃																						23,716
47 〃	3		3																			3,759
49 〃																						444
50 〃																						2,423
51 〃																						533
52 〃	1							1														5,248
53 〃																						6,441
54 〃	2												2									10,127
55 〃																						3,641
56 〃																						1,414
合計	21		3	1	2			3	1				9						1		1	77,309

ガーナ

青年海外協力隊派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
49年度																						464
50 〃																						497
51 〃																						1,809
52 〃	12					3		2									7					43,908
53 〃	18			1		4							4				9					78,389
54 〃	20					5		1			1						12				1	128,998
55 〃	19		1			2	4				1						7				4	133,998
56 〃	C (1) 26	C (1)				4	1	5	1				5				10					216,596
合計	C (1) 95	C (1)	1	1		18	5	8	1		2		9				45				5	604,659

(注) Cは調整員で外数である。

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	職業訓練機材	工業調査研究所	54	21,227
計	1 件			21,227

ガーナ

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
繊維技術訓練センター	昭和34年10月，通商使節団長として	37	実施調査	37.11～37.12	4	3,304						3,304
協定等の種類：協定	来日したガーナ貿易大臣は，わが国に対し	38									51,863	51,863
署名年月日：38.5.23	日本・ガーナ間貿易関係のアンバランス是	39					－	5	5,718			5,718
協力期間：	正を強く希望する一方，両国の関係をより	40					5	3	21,106			21,106
（当初）38.5～42.5	密接にするため，貿易・経済技術協力を提	41	巡回指導		(1)	1/ (368)	8	－	24,220		1,539	(368) 25,759
（延長）42.5～45.5	案した経緯があり，その後昭和35年在京	42					8	1	30,620			30,620
（再延長）45.5～47.5	ガーナ大使は前記の技術協力に関連して，	43					8	6	35,911		405	36,316

ガーナ

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
	ガーナに技術訓練センター設置を要請してきた。	44					9	※1	34,070		1,372	35,442
	わが国としてはこれを検討した結果，繊維技術訓練センター設置の方針を決定，昭和37年11月に5名の実施調査団を派遣し，アクラ東北約30キロのテマ市に繊維技術訓練センターを設置することに決定，昭和38年5月にセンター設置に関する取極めが正式に調印された。	45					11	3	35,094		5,275	40,369
		46					6	—	26,349			26,349
		47					6	—	9,403		6,861	16,264
		48										
		49										
		50										
		51										
		52										
	本センターは，ガーナ経済・技術開発に寄与するため，ガーナ政府の特に希望する綿織物及びタオルの生産，染色加工および簡易縫製等の技術者を養成することによりガーナ国内における繊維技術の普及開発を図り，あわせて繊維需要の増大を図ることを目的とするものである。	53	エバリュエーション	—	2	(外)308 2,504					6,495	9,307
		54	（同上報告書）			84					1,695	1,779
	また，本センターの訓練方式は，Junior Technical Institute 卒業者を対象として初級技術者を養成する普通科と Senior Technical Institute 卒業者を対象として中堅技術者を養成する高等科に分け，それぞれ1年を1期として織物の物理および化学実験，綿およびタオルの生産，染色，縫製加工等の訓練を行った。		1/ ガーナ繊維センター，ケニア小規模工業センターの巡回指導，中近東アフリカ一般を参照のこと，経費折半									
	本センターは昭和42年2月27日に仮開所したが，ガーナ側の財政難などによるセンター建物建設の遅延などがあったため											

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
	当初の協力期間を3年延長した。さらに昭和45年5月の延長協定満了を迎え，ガーナ側の業務体制の不備と，カウンターパートの能力不足から，ガーナ政府の強い協定延長要請により，2年間の協力を引続いて行うことになり，結局，協定締結後9年間にわたり協力を行い，昭和47年5月11日をもってガーナ政府への引継ぎを行った。 〔カウンターパート受入実績〕 年度：47 人数：3人											

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
ガーナ大学医学部 Medical School, Ghana University 協定等の種類：R／D 署名年月日：43.7.4 協力期間： （当初）43.7.4 ～55.6.7 （延長）55.6.8 ～60.3.31	昭和42年，ガーナ国政府よりガーナ大学医学部への解剖学をはじめ主として基礎医学部門への医療協力についての要請がなされ，これに対しわが国は，野口英世博士に縁の深い福島県立医科大学が協力機関となり医療協力が開始された。 昭和43年6月に福島県立医科大学の本多憲児教授を団長とする実施調査団を派遣し，「ウイルス学と電子顕微鏡学」をテーマとする第1次プロジェクトを開始した。	43	実施調査（一次）	43.6.20～43.7.6	4	…	—	3	…	電顕用機材，試薬	2,650	…
		44					—	5	…	超遠心機，野外作業車	49,975	…
		45	実施調査（二次）	46.1.11～46.1.31	2	…	4	1	…	超低温槽	8,075	…
		46					3	(人)1 4	…	動物飼育用コンテナ	14,002	…
		47	実施調査	47.6.28～47.7.16	3	2,854	4	3	30,229	電子顕微鏡用部品	(機)803 23,933	57,819
		48	基礎調査	48.6.14～48.7.9	5	5,751	3	(人)1 7	(人)1,489 47,284	野外調査車	(機)1,414 32,266	88,204
		49					6	(人)2 4	(人)2,537 34,601	デジタル炎光光度計	(機)1,461 29,873	68,472
		50					3	6	55,880	超音波トモグラフ	(機)2,895 33,051	91,826

ガーナ

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
国内協力機関： 福島県立医科大学	ついで，昭和４７年６月に第２次プロジェクト実施調査団を派遣し，第１次プロジェクトの成果ならびにガーナ国の要請にもとづき，第一次プロジェクトのテーマを基礎として「低栄養と感染症」をテーマとする第２次プロジェクトの実施が日・ガ双方で合意された。 昭和５１年５月に第２次プロジェクトのエバリュエーション調査団を派遣し，検討の結果，第２次プロジェクトのテーマの究明には，病態生理学的，かつ，免疫学的研究が不可欠だというガーナ側の強い要望に応えて，第３次プロジェクトとして「病態生理学と免疫学」の分野で医療協力を実施した。 昭和５５年６月のR／D協力期間終了に先だち，同年３月には，エバリュエーション調査団を派遣し，ガーナ国側の協力延長要請を背景に過去の協力の成果を評価すると同時に，協力延長に関するR／Dを交換し，今後の協力計画について協議した。 〔カウンターパート受入実績〕 年度：43～54／55／56 人数：32／4／3	51	エバリュエーション	51. 5.23～51. 6.12	3	4,180	—	(大)2 9	94,275	室内温度調節機	37,997	136,452
		〃										
		52	計画打合せ	52. 6.17～52. 6.30	3	4,201	6	6	108,660	赤外線分光光度計	(機)4,931 60,305	178,097
		〃										
		53					8	12	141,787	酵素活性分析機	(機)5,899 59,025	206,711
		54	機材修理	55. 2.20～55. 3. 6	5	16,769	9	(大)1 4	(大)1,173 115,649	ガスクロマトグラフ蛍光顕微鏡	(機)1,414 126,286	261,291
		〃	エバリュエーション	55. 3. 1～55. 3.24	3							
		55	機材修理	55. 7.26～55. 8.14	4	(実) 640 6,369	7	14	120,302		(機)17,451 117,602	262,364
		56	計画打合せ	56. 6.21～56. 7. 6	3	(実)1,491 4,379	6	7	104,999		(機)20,269 5,782	136,920

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	西アフリカ漁業開発調査	（ガーナ，ガボン，サントメ・プリンシペ） アフリカ一般を参照のこと。	51	事前調査	52. 3. 3～52. 3. 31	(8)	(4,321)
2	テレビジョン放送網拡充計画調査	ボルガタンガ，クマシ，タマレ等北部地区にテレビジョン放送網を拡充する計画についてのフィジビリティ調査。	47	実施調査	47. 11. 5～47. 12. 27	6	14,443
3	アクラ平原砂糖生産プロジェクト実施調査	アクラ平原における砂糖きび栽培および精製工場設立などを内容とする大型プロジェクトのフィジビリティ調査を実施する。	50	実施調査	50. 6. 26～50. 7. 25	5	12,092
			51	実施調査		0	17,392
4	野口英世記念研究所建設計画調査	ガーナ大学医学部に対し，昭和43年以来8年間にわたり医療協力事業にて専門家の派遣，機材供与，研修員の受入等の協力を実施。野口英世生誕100年記念ならびに協力の効率化のため，同大学に記念研究所を設立しようとするもの。建設資金は無償資金供与による。本件はその設計のための調査。	51	特	51. 8. 10～51. 8. 30	10	133,730
			〃	特	51. 11. 14～51. 12. 4	8	
			〃	特	52. 3. 20～52. 3. 28	4	

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	③（リベリア，ザイール，ガーナ，象牙海岸，ナイジェリア） 中近東・アフリカ一般を参照のこと。	49	海	49. 11. 15～49. 12. 2	(2)	(486)
2	中小工業開発計画調査	各種中小工業のうち，紙パルプ，合板，陶磁器，釘および針金，玩具，マットレスの6業種の工業化の可能性，特に原料利用の可能性につき調査。	38	海	38. 11. 14～38. 12. 14	6	7,099

〔無償資金協力〕

実施促進調査

No.	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	ガーナ・零細漁民育成計画 ナイジェリア・漁業調査訓練船計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （ガーナ，ナイジェリア）	55	56. 1. 19～56. 2. 1	(2)	(1,026)

ギ　ニ　ア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	4,482	2	3,064	1	146		4,447	3	1,420	1	12,973	7	16,979	8	43,511	22
専門家	−		−	1	−		−		−		−		5,635	2	5,635	3
調査団	83		37,996	18	136,730	22	242,359	35	472,260	41	309,377	36	205,427		1,404,232	152
協力隊	−		−		−		−		−		−		−		−	
機材供与	−		−		−		−		−		−		1,980		1,980	
その他	53		1,971		2,721		4,549		6,206		5,981		255		21,736	
合計	4,618		43,031		139,597		251,355		479,886		328,331		230,276		1,477,094	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	22		1		1	12		2					3				2				1	43,511
専門家	3					2							1									5,635
調査団	152					111		34					7									1,404,232
協力隊																						−
機材供与																						1,980
その他																						21,736
合計																						1,477,094

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
50年度	2												2									4,482
51 〃	1					1																3,064
52 〃	(1)						(1)															146
53 〃	3					2															1	4,447
54 〃	1							1														1,420
55 〃	7		1			4											2					12,973
56 〃	8				1	5		1					1									16,979
合計	(1) 22		1		1	12	(1)	2					3				2				1	43,511

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
49年度	1												1									
56 〃	2					2																7,615
合計	3					2							1									7,615

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

番	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	地図作成調査	天然資源の豊富なギニア共和国は，1958年独立したが，統一的な基準点網も，国土基本図もない状況である。このため，ギニア政府はわが国に地図作成事業に関し協力を要請してきた。昭和51年度に事前打合せ，現地踏査，関係資料	51	事前調査	51. 11. 9～51. 11. 28	4	26,480
			51	事前調査	52. 2. 22～52. 3. 31	7	
			52	実施調査（地図作成）	52. 4. 1～52. 4. 24	(4)	11,174

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		収集等の事前調査を実施したのに引続き，昭和５２年度を第１年次とする５カ年計画で同国における基準点測量（約２０万㎢），空中写真撮影（約20万㎢）および５万分の１地形図作成（カンカン地区約１万㎢）を行うこととなったが，初年度はこのうち基準点測量（約５万㎢）および撮影（７万５千㎢）の各作業を行った。	52	実施調査（地図作成）	52. 4. 2～52. 4. 24	3	124,116
			〃	実施調査（地図作成）	52. 12. 3～53. 3. 31	19	
			53	実施調査	53. 4. 1～53. 6. 1	27	165,653
			54	実施調査	54. 10. 10～55. 2. 14	22	352,336
			55	実施調査	（国内作業）	0	36,823
		昭和５３年度は東部地区を対象に，基準点３０点の測量・設置，Ⅱ等水準測量約400㎞，既設水準点の刺針1,900㎞，多角測量約３０㎞１０点，および昭和５２年度に引き続いて，西部地区約８万㎢の縮尺 1／10万空中写真の撮影を実施した。	〃	実施調査	55. 9. 15～56. 2. 21	29	244,105
			56	実施調査	（報告書作成）	0	204,846
		昭和５５年度は，基準点２０点，水準450㎞，刺針（水準1,830㎞，基準点５点）の現地調査１６面（12,100㎢）を調査し，最終年である昭和５６年度は最終報告書の作成を行った。					
2	カンカン地区農業開発計画調査	ギニア政府は食糧の自給達成を図るため，経済５カ年計画において農業開発をとくに重視しているが，現状は自然的条件に左右される伝統的農業の域を出ず，毎年食糧の多くの部分を輸入に依存している。同国政府はこの現状を打破するために，わが国に内陸部の主要都市カンカン市効外のカンカン地区約４万haの農業開発に対する協力を要請してきた。この要請に基づき昭和５２年３月，国家開発計画における同地域開発計画の位置づけ，開発計画の内容の確認，地域の開発の現状把握，およびわが国の協力の可能性についての検討等を行うことを目的に事前調査を実施した。事前調査の結果により，昭和５３年１０月カンカン地区４万haの地形図作成調査を実施し，1／5,000 の地形図を作成した。	51	事前調査	51. 11. 9～51. 11. 28	1	11,516
			〃	事前調査	52. 3. 26～52. 3. 31	6	
			52	事前調査	52. 4. 1～52. 4. 17	(6)	1,184
			53	実施調査	53. 10. 21～53. 11. 9	3	75,596
			〃	実施調査	53. 12. 19～54. 2. 8	5	
			54	実施調査	54. 6. 31～54. 11. 30	16	119,925
			〃	実施調査	54. 8. 31～54. 9. 14	3	
			〃	実施調査	54. 8. 31～54. 11. 30	10	
			〃	実施調査	55. 3. 18～55. 3. 28	3	
			55	実施調査	（報告書作成）	0	2,068
3	船舶増強計画調査	６万トン級のボーキサイト運搬船２隻の建造に関し，同船が自国保有船となった場合の収益性と外国船使用料の軽減化並びに貿易の効率化等によるトータルと，運航，維持管理に要する必要経費等を比較検討し，同計画が経済的，技術的にフィジブルであるかどうかを判断するための調査を実施した。	55	実施調査	55. 11. 6～55. 11. 25	8	26,381
			56	実施調査	（報告書作成）	0	581

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	－		－		－		－		－		－		－		－	
専門家	－		－		－		－		－		－		－		－	
調査団	－		－		－		－		－		7,357	4	－		7,357	4
協力隊	－		－		－		－		－		－		－		－	
機材供与	－		－		－		－		－		－		－		－	
その他	－		－		－		－		－		665		－		665	
合計	－		－		－		－		－		8,022		－		8,022	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員																						－
専門家																						－
調査団	4							4														7,357
協力隊																						－
機材供与																						－
その他																						665
合計																						8,022

2. 事業別実績

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

ギニア・ビサオ

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	農業開発計画基本設計調査	同国はアフリカ西部の内陸国で面積約3万6,000平方キロ，人口約78万人で，うち農業人口が90%以上の農業国である。しかし食糧自給率が60%以下と低いため，同国政府は食糧増産を最優先政策として推進している。55年3月，同国文部大臣等が来日の際，①かんがい用揚水ポンプ，②開墾用機械等の協力をわが国に要請した。わが国は要請内容の確認と検討のため，55年5月に調査団を派遣した結果，ジェバ河流域のバハタ州の500haの水田開発に必要な開墾用機械と揚水ポンプの約2億円の機材供与等が必要と判断した。	55	特	55. 5.10～55. 5.25	4	6,008

〔無償資金協力〕

実施促進調査

No.	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	ギニア・ビサオ，ジェバ川流域稲作開発計画 ガンビア漁業振興計画	中近東アフリカ一般を参照のこと。 （ガンビア，ギニア・ビサオ）	55	56. 2.28～56. 3.16	(2)	(1,349)

象牙海岸

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	21,758	10	—		7,634	3	8,858	3	10,923	4	3,897	3	7,850	4	60,920	27
専門家	41,621	4	—		—		—		—		—		1,708		43,329	4
調査団	12,915	5	—		—		—		10,716	4	24,646		4,301		52,578	9
協力隊	2,744		151		—		—		—		—		—		2,895	
機材供与	8,160		—		4,568		—		8,092		42		17,312		38,174	
その他	112		—		—		—		997		—		—		1,109	
合計	87,310		151		12,202		8,858		30,728		28,585		31,171		199,005	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信、放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	27	2			7	1	2				9				3	1	1		1			60,920
専門家	4										4											43,329
調査団	9										4		5									52,578
協力隊																						2,895
機材供与																						38,174
その他																						1,109
合計																						199,005

象牙海岸

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
45年度	1						1															939
46 〃	4				1						2				1							6,612
47 〃	2										2											5,089
49 〃	1						1															1,614
50 〃	2										2											7,504
52 〃	3				1						1					1						7,634
53 〃	3				1	1					1											8,858
54 〃	4	1			1						1						1					10,923
55 〃	3				2														1			3,897
56 〃	4	1			1										2							7,850
合計	27	2			7	1	2				9				3	1	1		1			60,920

専門家派遣事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
47年度	2										2											5,590
48 〃																						12,994
49 〃	(1) 2				(1)						2											14,944
50 〃																						11,232
52 〃	(2)				(2)																	
55 〃																						1,749
合計	(3) 4				(3)						4											46,509

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
48年度	(U) 1																(U)1					713
49 〃																						1,172
50 〃																						957
51 〃																						151
54 〃																						312
合計	(U) 1																(U)1					3,305

(注) (U)はＵＮＶである。

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No.	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	漁業指導船	畜産省	47	5,021
2	漁業用機材	畜産省水産局	52	4,568
3	消化器検査機材	アビジャン大学附属病院	54	8,092
4	漁業訓練用機材	畜産省	56	17,271
計	4 件			34,952

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	開発調査プロジェクト選定確認調査	（象牙海岸，リベリア，セネガル）	50	事前調査	50. 10. 12～50. 10. 22	(3)	(1,325)
		中近東アフリカ一般を参照のこと。					
2	科学技術学校設立計画調査	本校は象牙海岸共和国，ベナン，トーゴ，カメルーン，セネガル，マリ，コ	54	特	54. 9. 29～54. 10. 13	4	5,445
		ンゴの仏語諸国人に対し，教育・訓練を行う地域的な教育機関であるが，これ	55	特	（報告書作成）	0	22,497

象牙海岸

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		ら西部中央アフリカ仏語諸国の輸出品は大半農産品であり，フランス等西欧諸国向け海上輸送により行われている。輸出手段である海上輸送に関しては，ほとんど外国籍船舶および外国船員により行われており，今後の同諸国における貿易拡大に伴って対外船舶への依存が高まることは必至の状況にある。そこで諸国海運閣僚会議において高級船員，スタッフを育成すべく上記学校をアビジャンに設置計画されたもの。 わが国に対する要請に応じ，機械工具，船舶工学機械および訓練船の基本設計調査を実施した。					

海外開発計画調査事業

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	①（アルジェリア，リビア，モロッコ，象牙海岸，セネガル） 中近東・アフリカ一般を参照のこと。	47	海	47. 9. 21～47. 10. 14	(2)	(586)
		③（ガーナ，象牙海岸，リベリア，ナイジェリア，ザイール） 中近東・アフリカ一般を参照のこと。	49	海	49. 11. 15～49. 12. 2	(2)	(486)
		⑤（アルジェリア，モロッコ，象牙海岸，セネガル） 中近東・アフリカ一般を参照のこと。	50	海	50. 10. 5～50. 10. 25	(2)	(676)
2	木材利用工業開発計画調査	木材資源の有効な利用とサンペドロ地域に計画しているパルプ工場建設の可能性の検討。	46	海	46. 11. 7～46. 12. 4	5	10,246

〔開発投融資〕

融資承諾年月	事業名	事業地	本邦事業者	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額					貸付実行額		グラント・エレメント（%）	備考
					金利（%）	返済期間（内据置年）	承諾額（百万円）	契約年月	契約額（百万円）	年度	実行額（百万円）		
48. 11. 19	養蚕開発試験事業	アビジャン市郊外		品種改良と成育	0.75	15(5)	110	49. 7. 30	108.2	(海外貿)	40		1.8不要
										49	60		
										50	8.2		

〔無償資金協力〕

実施促進調査

No.	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	象牙海岸・海洋科学技術学校設立計画 トーゴ・地下水開発計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （象牙海岸，トーゴー）	55	55. 12. 6～55. 12. 18	(2)	(2,149)
2	象牙海岸・海洋科学技術学校設立計画 ニジェール・ニアメ発電所拡張計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （象牙海岸，ニジェール）	56	56. 7. 10～56. 7. 24	(3)	(2,738)

ケ　ニ　ア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	140,455	115	40,159	25	54,638	28	35,330	25	95,413	44	117,303	47	113,948	37	597,246	321
専門家	1,101,594	142	115,748	11	102,779	11	210,332	18	288,819	19	375,108	50	666,299	33	2,860,679	284
調査団	138,551	59	280,416	49	260,168	53	128,425	29	283,681	40	535,529	55	324,363	65	1,951,133	350
協力隊	636,427	175	156,682	22	179,031	20	184,670	39	273,767	44	350,729	61	436,782	41	2,218,088	402
機材供与	522,716		43,884		41,234		47,557		115,210		177,505		349,365		1,297,471	
その他	6,342		7,822		8,085		6,367		8,930		17,447		18,902		73,895	
合計	2,546,085		644,711		645,935		612,681		1,065,820		1,573,621		1,909,659		8,998,512	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	321	2	12	5	25	35	76	33		3	22	1	22	3	14		30		27	4	7	597,246
専門家	284	13		14	1	15	25	34			5	6	11	2	4		42		111		1	2,860,679
調査団	350	14		36		150	15	20		1	8			27			28		32		19	1,951,133
協力隊	402	1	4	2	52	70	27	71			25		38	2			93	2			15	2,218,088
機材供与																						1,297,471
その他																						73,895
合計																						8,998,512

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
38年度	2					1									1							2,334
39 〃	9							3					5				1					6,703
40 〃	4						1	2			1											4,443
41 〃	4										2				2							3,354
42 〃	6				1		2				2		1									5,376
43 〃	8				2		2				2		1						1			6,441
44 〃	11				1		3				1				1		1		1		3	9,018
45 〃	7				2		1				1						2		1			7,743
46 〃	7						3	2									1		1			9,365
47 〃	17				1	1	5				2		2		1		4		1			25,942
48 〃	10				1	1	2	1			2				1		1		1			11,631
49 〃	13		1		1		5	1					1		1				3			19,517
50 〃	17	1			2	2	5	1			2		1				1		2			28,588
51 〃	(1) 25		2		5	2	(1) 6	1			2		1		2		3		1			40,159
52 〃	28		1		2	4	5	4			1		1		1		3		6			54,638
53 〃	25			1	1	5	6	1			1		3				3		1		3	35,330
54 〃	44	1	3	1	2	7	10	3		1	1		1	2	3		3		5		1	95,413
55 〃	47		3	2	1	6	9	10		1	2	1	2		1		7		2			117,303
56 〃	37		2	1	3	6	11	4		1			3	1					1	4		115,576
合計	(1) 321	2	12	5	25	35	(1) 76	33		3	22	1	22	3	14		30		27	4	7	598,874

（注）カッコは国際機関研修員で外数である。

ケニア

専門家派遣事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
39年度	1												1									1,620
40 〃	5												1						4			11,192
41 〃	2										2											13,711
42 〃																						9,633
43 〃	5					1	2				1		1									21,020
44 〃	5										2		2								1	33,358
45 〃	3							2				1										34,170
46 〃	1				1																	26,942
47 〃	4					1		2									1					45,102
48 〃	1						1															63,652
49 〃	6					1		1				1	3									86,867
50 〃	2						1	1														83,648
51 〃	6			4			1	1														91,250
52 〃	10			3		3	2								2							78,192
53 〃	13			3		3		2				1	3				1					175,862
54 〃	10						5	1				3		1								265,034
55 〃	25	9		1		3	7							1	2		2					294,570
56 〃	15			3		3	6	3														346,622
合計	114	9		14	1	15	25	13			5	6	11	2	4		4		4		1	1,682,445

青年海外協力隊派遣事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
40年度	3												2	1								1,706
41 〃	11				2			2			5		1				1					10,799
42 〃	16				6	3		3			3		1									26,627

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政 開発計画	計画・行政 行政	公共・公益事業 公益事業	公共・公益事業 運輸交通	公共・公益事業 社会基盤	公共・公益事業 通信・放送	農林・水産 農業	農林・水産 畜産	農林・水産 林業	農林・水産 水産	鉱工業 鉱業	鉱工業 工業	エネルギー	商業・観光 商業・貿易	商業・観光 観光	人的資源 人的資源	人的資源 科学・文化	保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
43年度	14				3	2					1		7				1					38,199
44 〃	8				4						1		3									48,422
45 〃	26				9	6		2			3		1				5					61,601
46 〃	13				3	3											4				3	59,778
47 〃	28				9	3		7					6	1							2	99,928
48 〃	10				3	1					2						3				1	87,487
49 〃	15			1		2		3					5				4					125,541
50 〃	31					3	4	9			3		3				5				4	156,944
51 〃	22			1	7	3		6			1						3				1	171,110
52 〃	20				2	2	4	5			1						5				1	200,797
53 〃	39		4		4	7	4	10			1		1				8					201,255
54 〃	44					8	6	8			1		1				19				1	303,098
55 〃	61					20	3	8			3		1				24				2	375,825
56 〃	C(1) 40	C(1)				7	6	8					6				11	2				457,123
合計	C(1) 401	C(1)	4	2	52	70	27	71			25		38	2			93	2			15	2,426,240

(注) Cは調整員で外数である。

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	漁網・船用エンジン	農業省水産局	42	3,393
2	農機具	農業省	43	2,356
3	航空無線用機材	東アフリカ航空局	44	7,297
	（同上45年度支出分）		45	285
4	車輌整備用機材	国家青年奉仕隊（NYS）	45	235
5	探鉱調査機材	ナイロビ大学	46	1,775
6	工作機械	国家青年奉仕隊（NYS）	47	8,524
7	車輌検査機材	国家青年奉仕隊（NYS）	47	9,672

ケニア

No.	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
8	工作・建設車輌機材	国家青年奉仕隊（ＮＹＳ）	49	9,853
9	鉱山地質機材	天然資源省鉱山地質局	50	3,603
10	電気通信機材	郵電公社	54	4,637
11	養蚕研究機材	農業省	54	10,218
12	園芸関係機材	農業省	55	23,541
13	第三国研修用電気通信用機材	ケニア郵電公社	56	25,688
14	自動車性能試験用機材	Plant specialist school workshop	56	31,261
計	１４件			142,338

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
小規模工業技術訓練センター 協定等の種類：協定 署名年月日：39.7.30 協力期間： （当初）39.7～43.7 （延長）43.7～45.7 （再延長）45.7～47.8	ケニア政府は，経済開発と民生の安定に強い熱意を示し，教育に重点をおいたアフリカ人の人材養成を図るとともに，工業奨励，国内産業保護助成政策をすすめ，特にアフリカ人の経営する小規模工業の育成に力を入れ，わが国に対し小規模工業技術センター設置を要請してきた。よって，昭和３８年８月，実地調査団をケニアに派遣し，この調査結果に基づいて検討の結果，小規模工業技術訓練センターを設置することになり，昭和３９年７月３０日，日本・ケニア間で正式に協定が調印された。 この協定に基づき，わが国は5,490万円の機材を無償供与するとともに，昭和３９	38	実施調査		5	4,346						4,346
		39						※2 10	20,956		54,961	75,917
		40					10	－	29,530			29,530
		41	巡回指導		(1)	1/ (368)	9	1	30,108			(368) 30,108
		42					9	7	44,294		1,344	45,638
		43					9	3	33,874		84	33,958
		44				190	11	－	33,222		20,370	53,782
		45					11	5	40,846			40,846
		46					8	2	26,401		2,763	29,164
		47	エバリュエーション		(2)	2/ (640)	8	※1	6,319		8,878	(640) 15,197
		48	巡回指導		(2)	3/ (619)		※4			9,561	(619) 9,561

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
	年9月から12月にかけて理事長以下12名の要員を現地に派遣した。一方，ケニア側の提供する建物の準備がすすまず，このためセンターの開所も当初の予定より若干遅れたが，関係者を督促して昭和40年7月26日に9カ月間の講座を中心とした訓練が開始された。 本センターでは金属加工，電気機器組立修理，ミシン縫製，木工，機械組立修理，皮革加工の6部門よりなり，技術および経営に関するコースにより将来小規模工業経営者となるものに対し，経営に必要な技術および経営知識についての訓練を実施した。さらにこの訓練コースに加えて経営者養成の効果を高めるため，これら訓練に必要な調査部門と訓練終了者を含む小規模工業経営者に対し，経営相談にのり指導してゆく経営相談部門を設けて協力を行った。 また，昭和45年8月より本センターに鋳造部門を新設し，鋳造実技および理論を指導した。 本センターの協定による協力期間は，昭和43年7月をもって終了するところ，ケニア側より協定延長要請があり，二度にわたる協定延長をして結局，昭和47年8月まで協力を行い，終了した。			1/ ガーナ繊維センター，ケニア小規模工業センターの2センターの巡回指導，中近東アフリカ一般参照，経費折半 2/ ケニア小規模工業センター，ウガンダ職訓センターの2センターのエバリュエーション調査，中近東アフリカ一般参照，経費折半 3/ ケニア小規模工業センター，ウガンダ職訓センターの2センターの巡回指導，中近東アフリカ一般参照，経費折半								

ケニア

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査団 調査期間	調査団 人数	調査団 経費（千円）	専門家 人数 継続	専門家 人数 新規	専門家 経費（千円）	機材供与 主要機材名	機材供与 経費（千円）	経費総額（千円）
	〔カウンターパート受入実績〕 年度：47 人数：6人											
ＮＹＳ上級技術訓練センター National Youth Service Advanced Training Center 協定等の種類：R／D 署名年月日：50.5.26 協力期間： （当初）50.5.26～54.5.25 （延長）54.5.26～55.5.25 相手国機関：大統領府	ケニアＮＹＳ（National Youth Service）はケニヤッタ大統領の唱えるHALLANBEE精神（自分自身の手で汗を流して国造りをする）に基づき1964年労働省の附属機関として設立されて以来，職業訓練を主目的に，青年男女を対象にして訓練を実施している。 本センターは，センター方式による技術協力を実施するため，昭和５０年５月に派遣した実施調査団の討議議事録にもとづいて，ナイロビにあるケニアＮＹＳセントラルワークショップ内に併設された。 本プロジェクトの目的は，ケニア国の近代工業化に必要な人材を育成することで協力対象はTrade Test GradeⅢ所有者であり，目標はGradeⅡを取得するための知識技能の向上である。協力分野は，(1)機械科，(2)仕上げ科，(3)電気工事科の３科であり協力期間は４年間である。 本センターへの協力は，昭和５４年５月２５日をもって当初の４年間にわたる協力期間が満了するが，これに伴いエバリュエーション調査団を派遣し，協力目標の達成度につ	49	事前調査	49.10.3～49.10.20	4	3,517						3,517
		50	実施調査	50.5.15～50.6.1	4	4,275					49,542	53,817
		51				132						(1,311) 53,849
		〃	巡回指導	52.2.17～52.3.8	(3)	(1,311)	—	3	24,827		28,890	
		52					3	1	29,665		21,842	51,507
		53	機材修理	53.10.30～53.11.20	(2)	専8 (2,275)	4	2	42,428		機1,941 17,754	(2,275) 62,131
		54	エバリュエーション	54.5.10～54.5.25	4	専20 4,182	4	—	19,857		機5,357	29,416
		55				56	1	—	2,886		機 269	3,211

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	人数 新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
	いて調査し，本センターのケニア側への引継ぎの可能性について，ケニア側と折衝した。 その結果，協力期間をさらに２年間延長して昭和５５年５月２５日まで協力を行うということで合意した。 〔カウンターパート受入実績〕 年度 51 52 53 54 55 人数 1 0 2 0 2											
ケニヤッタ農工大学 Jomo Kenyatta College of Agriculture and Technology 協定等の種類：R／D 署名年月日：55. 4. 19 協力期間： （当初）55. 4. 19～60. 4. 18 相手国機関： 高等教育省 国内協力機関：文部省	ケニア国は第３次開発計画（1974年～1978年）において職業技能訓練に重点をおいた教育制度の確立をあげ，その一環として，同国の首都約３０kmの地点にケニヤッタ農工大学の設立を計画した。大学の建物はわが国の無償資金協力により昭和５６年５月に開校する予定であるが，本大学設立にあたり，同国政府は教員養成等を主たる目的とした技術協力をわが国に要請してきた。 これに応え，わが国は昭和５３年８月に事前調査を実施し，本件協力の要請背景，計画内容等を把握し，調査および検討を行った。さらに昭和５５年４月には上記事前調査をふまえ，実施協議チームを派遣し，討議議事録に署名した。 本プロジェクトの内容は，①ケニア国の経済・社会発展に寄与する技能を身につけ	53	事前調査	53. 8. 10～53. 8. 25	7	(実)465 8,829						9,294
		54	実施協議	55. 4. 7～55. 4. 21	6	(実)472 4,083	--	--	7,131			11,686
		55				293						60,139
		55	計画打合せ	56. 2. 7～56. 2. 22	5	7,935	—	17	50,221		(機)1,690	
		56				(専) 70						349,959
		56	計画打合せ	57. 2. 28～57. 3. 12	4	6,947	14	3	201,238	農場実習用化学実験機器，マイクロバス	(機)5,758 135,946	

ケニア

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
	た中堅技術者の育成を開学の基本理念とする。②本大学は4年制大学とし，農学部および工学部の2学部を設置する。③生徒数は約720名，教官は約120名。④協力期間は5年間などとなっている。 〔カウンターパート受入実績〕 年度 53 54 55 56 人数 2 13 16											

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
ナクール病院 協定等の種類：R／D 署名年月日：43. 7. 10 協力期間：41～50 国内協力機関： 長崎大学	ナクール病院に対する医療協力は昭和41年3月，長崎大学医学部から内科（1名）外科（1名）および看護婦（2名）の合計4名の専門家を中近東アフリカ計画にもとづき派遣したことに始まる。 昭和43年6月，医療協力実施調査団を派遣して今までの協力を追認するとともに，今後の協力内容をいかに処理するかについて現地の事情を調査の上，ケニア側の要望事項である①検査室の拡充整備，②専門家の追加派遣の2項目について協議し，専門家派遣，機材供与，研修員受入れのプロジェクト協力について具体的にケニア政府と	41					4	—	…	ガストロカメラ，心電計	2,940	…
		42					4	2	…	臨床検査用機材	※ 8,014	…
		43	実施調査	43. 6. 26～43. 7. 13	7	…	5	2	…	X線テレビ	※28,259	…
		44					4	5	…			…
		45	計画打合せ	45. 11. 25～45. 12. 13	4	…	4	4	…	内視鏡	931	…
		46					4	6	…	医薬品	17,171	…
		47	計画打合せ	47. 11. 12～47. 11. 27	3	2,228	9	6	34,071	凍結真空装置	他1,105 14,735	52,134
		48					9	5	40,262		他1,687	41,949
		49	エバリュエーション	50. 2. 6～50. 2. 21	3	2,716	4	6	34,068	自動腹膜灌流装置	他2,960 16,420	56,164
		50	（同上50年度分）			103	5	—	15,205			15,308

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
	打合せた。 昭和４５年１１月，計画打合せ調査団を派遣し，さらに継続協力の細目等を打合せ，昭和４７年１１月に計画打合せ調査団を派遣して，今までの協力についてエバリュエーションするとともに将来計画について討議した。その結果，昭和５０年度まで協力をすることを決定した。											
エンブ病院 協定等の種類：R／D 署名年月日：43. 7. 10 協力期間：42～48 国内協力機関： 大阪大学医学部	本プロジェクトは，昭和４２年度に国立療養所の内科，外科および産婦人科の計３名の専門家を派遣したことに始まる。大阪大学医学部を国内協力機関として協力を実施してきたが，昭和４３年６月医療協力実施調査団を派遣してナクール病院とともに過去の協力についてエバリュエーションをし，昭和４７年１１月の実施調査団で取り交わされた協定どおり，フォローアップ的協力をせず，昭和４８年度で協力を打ち切り，終了した。	42					－	3	…	外科手術機材	※ 8,014	…
		43	実施調査	43. 6. 26～43. 7. 13	(7)	…	3	1	…	X線巡回診療車	※ 28,259	…
		44					3	4	…		－	…
		45					4	1	…	X線巡回診療車	3,825	…
		46					2	2	…	医薬品	5,757	…
		47	計画打合せ	47. 11. 12～47. 11. 27	(3)	(2,228)	3	2	12,741	医薬品	(機) 157 3,571	(2,228) 16,469
		48				－	2	－	4,700		－	4,700
ケニヤッタ病院 協定等の種類：R／D 署名年月日：45. 1. 17 協力期間：45.1～50.3 フォローアップ： 50. 4～53. 3	昭和４５年１月，医療協力実施調査団を派遣し，ケニヤッタ病院ＩＣＵ創設のための両国間で取り交したR／Dにもとづいて①専門家派遣，②機材供与，③研修員受入のプロジェクト協力をする旨の確約をした。 ケニヤッタ病院のＩＣＵは近代医療には不可欠の中央診療部門であり，その収容対象は内科，外科を問わず，重症な心肝機能	44	実施調査	45. 1. 4～45. 1. 18	4							
		45	計画打合せ	46. 1. 10～46. 1. 25	1			4		ＩＣＵ関係器材	20,377	20,377
		46					1	6		患者看視装置	44,165	44,165
		47	計画打合せ	47. 11. 12～47. 11. 27	(3)	(2,228)	5	6	23,720		(機) 1,179	(2,228) 24,899
		48					6	4	30,962	バイオフィジオグラフ	(機) 623 8,654	40,239
		49	エバリュエーション	50. 2. 6～50. 2 21	(3)	(2,716)	5	5	29,641	医療機材	(機) 1,847 13,005	(2,716) 44,493
		50					5	(大) 1 2	1,205 14,329	総循環血液量測定装置	(機) 1,454 9,424	26,412

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
	不全を集中的濃厚治療により回復させるものである。	51						2	2,353			2,353
国内協力機関： 大阪大学医学部												
伝染病研究対策 Communicable Disease Research and Control 協定等の種類：R／D 署名年月日：54.3.6 協力期間： （当初）54.3.6 ～59.3.5 国内協力機関： 長崎大学	ケニア政府は，伝染病予防に関する協力をわが国に要請してきた。わが国はこれを受けて，昭和52年7月に事前調査チームを派遣し，協力の可能性につき調査した。その後，この事前調査チームの調査結果にもとづき，国立公衆衛生研究所を中心とした伝染病の研究に対する協力を実施するため，昭和54年2月に長崎大学熱帯医学研究所の林薫教授を団長とする実施協議チームを派遣して協力の基本計画につき協議し，討議議事録に取りまとめ署名し，協力を開始した。 協力の内容は，国立公衆衛生研究所を中心に，(1)ウイルス，細菌，寄生虫等による疾病の基礎研究および予防の研究，(2)各種伝染病とりわけ下痢症の血清学的研究，(3)各種ワクチンの検定機能の強化等を図り，その成果を農村部に設定したモデルエリアに応用しようとするものである。	52	事前調査	7.14～8.1	5	5,641						5,641
		53	実施協議	2.24～3.16	3	3,185						3,185
		54	（同上報告書作成）			報 632						66,312
		〃				447	—	3	12,860	超遠心器，ディブフリーザー	携 2,327 50,046	
		55				実 634	3	8	71,310		携 3,454 74,106	149,504
		56	計画打合せ	8.14～8.30	4	5,555						263,290
		〃	機材修理	3.12～3.29	4	実 1,294 7,588 別 534	5	15	169,107		携 17,152 62,060	

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
	〔カウンターパート受入実績〕 年度 53 54 55 56 人数 2 3 1											

保健医療協力事業（単発）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
ウイルス学		53						1	2,772			2,772

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
小児科		53						1	677		440	1,117

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
家畜衛生計画基準作成調査	（インドネシア，マレイシア，タイ，フィリピン，ケニア，メキシコ，コスタリカ，コロンビア） 世界一般を参照のこと。	56	基礎調査	57. 3. 30～57. 4. 23	(8)	(1,578)						(1,578)

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

ケニア

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	ＦＭラジオ放送網拡充計画調査	ケニア政府は，現状のラジオ放送の実態が人口の５５％，国土の２０％をカバーしているにすぎないことから，放送網の拡充を計画し，わが国に技術協力を要請してきた。本計画は先にスウェーデンのコンサルタント会社において基本計画が作成されたが，計画の実施にあたり，本計画のフィージビリティーを確認するため，昭和５１年度に実施した現地調査に引続き，昭和５２年度はドラフト・レポートを作成し，現地政府に説明・協議を行った。	49	事前調査	49. 5. 9～49. 5. 22	3	2,078
			51	実施調査	52. 3. 10～52. 4. 16	9	19,564
			52	実施調査	52. 8. 23～52. 9. 5	3	5,598
2	東部地区地図作成調査	ケニアには，植民地時代に作成された全地域図（1／250,000）があるものの各種開発計画に役立つ国土基本図（1／50,000）は，同国中央部から南部にかけての地区（全体の４０％）のみが，英国の援助により完成しているだけである。ケニア政府の要請に基づき，同国東部ツオ，ラム及びマリンディ地区（対象面積約27,000㎢）の国土基本図作成を５カ年の継続作業により実施するものである。 昭和５２年度は，第３次作業として現地において標定点測量及び簡易水準測量を実施した。また小乾期（７～９月末）に行った航空写真撮影の成果を用いて現地調査を，また国内では空中三角測量及び図化作業（全体の約1／2）を行った。 昭和５３年度は昭和５２年度に引き続いて空中写真撮影未済地域（約9,000㎢）の撮影作業を実施した。 昭和５４年度は第５年次作業として図化に必要な資料を作成するため27,000㎢（全域）について地形・地物・植生等について調査確認し，刺針作業を行い，国内では空中三角測量，細部図化の一部および作業報告書の作成を行った。 昭和５５年度は最終年次として図化，現地補備測量，製図，印刷を実施し，地形図（1／50,000，37面）の作成を行った。なお，同地図作成事業は引続き土地利用図作成調査として５８年度まで継続されることになり，昭和５６年度は，国土基本図（地形図）の成果を提出し，主題図調査（地理調査）の概査および精査を実施した。	49	事前調査	50. 2. 16～50. 3. 12	5	6,932
			50	事前調査	（報告書作成）	0	943
			50	実施調査	50. 11. 27～51. 3. 4	8	88,795
			〃	実施調査	50. 12. 11～51. 2. 27	6＋(1)	
			〃	実施調査	51. 1. 29～51. 2. 28	1	
			51	実施調査	51. 7. 15～51. 12. 17	24	223,873
			〃	実施調査	51. 12. 2～51. 12. 17	2	
			〃	実施調査	52. 1. 20～52. 3. 4	2	
			52	実施調査	52. 7. 14～53. 3. 9	18	141,352
			53	実施調査	53. 12. 21～54. 3. 30	8	17,913
			54	実施調査	54. 6. 14～54. 11. 23	17	201,637
			55	実施調査	55. 6. 23～55. 8. 23	12	267,774
			〃	実施調査	55. 8. 8～55. 8. 23	2	
			〃	実施調査	56. 1. 30～56. 2. 26	5	
			56	実施調査	（地図作成）	0	8,409
			〃	実施調査	56. 11. 13～57. 2. 23	16	149,623
			〃	実施調査	57. 2. 5～57. 2. 19	3	
3	ケニアッタ農工大学建設計画調査	現在ケニアには男子工芸学校３校と工芸高校３校，農業関係では単科大学１校と農業技術者養成のための研究所３カ所とナイロビ大学農学部しかなく，当国の経済を支える農工業の発展を図るためには上級の技術者を養成する機関を	52	事前調査	52. 11. 28～52. 12. 12	8	23,680
			〃	実施調査	53. 3. 9～53. 3. 31	9	
			53	報告書説明	53. 8. 10～53. 8. 25	5	54,424

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		設置することが急務となっている。上記の事情に鑑み，ケニア政府よりケニアッタ工科大学の建設に関する協力要請があり，昭和５２年度は要請に応え基本設計を実施した。 昭和５３年度は，昭和５２年度の現地調査結果に基づき，基本設計作業を行い，さらに最終報告書を作成した。					
4	モンバサ地区給水増強計画調査	ケニア国第２の都市で同国唯一の貿易港でもあるモンバサ市は，商工業，観光の発展によりムジマスプリングをはじめ近郊の湧水源やモンバサ市北方に位置するサバキ川からの導入をはかっているにもかかわらず，急増する水需要に追いつけず，将来を見通した水供給対策が急務とされている。本件計画は，その目標を2,000年におき，モンバサ市，その周辺，ならびに既存のムジマパイプライン沿いの農村地帯への水供給を図るために第２次ムジマパイプラインを含む可能なすべての水供給計画案を検討し，優先案を勧告するものである。 昭和５５年度は５４年度に実施した自然条件，社会・経済的条件，水道施設等のインベントリー調査の結果に基づき同国政府が合意した給水増強計画案に関するフィージビリティー調査を実施し，ドラフトファイナルレポートをまとめて同国政府に説明，協議を行った。	54	事前調査	54. 10. 4～54. 10. 24	4	4,977
			〃	実施調査	55. 3. 3～55. 3. 31	6	19,272
			55	実施調査	55. 5. 8～55. 5. 24	2	30,497
			〃	実施調査	55. 6. 17～55. 9. 30	6	137,528
			〃	実施調査	55. 7. 22～55. 8. 1	2	
			〃	実施調査	56. 2. 20～56. 3. 1	6	
			56	実施調査	（報告書作成）	0	8,321
5	穀物貯蔵倉庫建設計画調査	ケニア国政府は食糧自給体制を確立するため，同国内の３カ所において総計１３万t（５万t，５万tおよび３万t）の穀類の乾燥・貯蔵能力を有する施設の建設および充実をめざした本計画を昭和５６年４月わが国に要請してきた。これに応えて，同年７月にＳ／Ｗ協議チームと共にＦ／Ｓチームを同国に派遣し，現地調査を実施した。最終報告書は，同年１０月に完成した。	56	事前調査	56. 7. 20～56. 8. 3	4	23,868
			〃	実施調査	56. 7. 21～56. 8. 9	5	
6	中央医療研究所建設計画調査	既存の熱帯病各センターを統括し，共同研究を実施することによりその成果を向上させることを目的とする中央医療研究所の建設に関し基本設計調査を実施した。	56	特	56. 6. 19～56. 6. 30	2	43,239
			〃	特	56. 11. 8～56. 11. 28	7	
			〃	特	57. 2. 7～57. 2. 18	4	
7	地下水開発計画調査	ケニア南部のKajiado, Narok両県における地下水開発に必要な資機材の供与に関し事前および基本設計調査を実施した。	56	特	56. 9. 3～56. 9. 24	3	35,308
			〃	特	56. 12. 4～56. 12. 17	2	

海外開発計画調査事業

ケニア

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	中小規模工業経済協力調査	（イラン，ケニア，タンザニア） 中近東アフリカ一般を参照のこと。	42	海	42. 8. 19～42. 9. 11	(5)	(1,865)
2	鉱工業プロジェクト選定確認調査	（ケニア，マダガスカル，タンザニア） 中近東アフリカ一般を参照のこと。	48	海	49. 2. 21～49. 3. 11	(2)	(585)
3	ニエリ工業団地開発計画調査	ケニア政府の要請により，同国の地元資源の活用，雇用機会の創出，小規模レベルの輸入代替の促進を目的として，同国ニエリにおいて工業団地開発計画を推進するため，その経済的意義，開発貢献度等を明らかにするため，フィージビリティー調査を実施した。５２年度は５１年度の現地調査にもとづき，報告書を作成し，現地説明を実施した。	51	海	52. 2. 19～52. 3. 15	11	23,754
			52	海	52. 11. 24～52. 12. 3	2	40,655
4	木材加工業近代化計画調査	ケニアの森林面積は国土総面積の３％に過ぎず，森林資源の乏しい国でありながら，生産される木材は，効率的，かつ経済的な方法で利用されておらず，大量の木材資源が残材あるいは鋸屑として未利用のまま放置されている。よって，木材加工業，とくに既存の製材工場の近代化の方向を見出し，あわせて新しい木材工業の導入の可能性を検討するため調査を行った。５３年度は５２年度の実地調査に基づき，報告書を作成し，現地報告を実施した。	52	海	53. 2. 3～53. 3. 3	8	21,272
			53	海	53. 11. 5～53. 11. 14	1	20,223
5	リフト渓谷地熱開発計画調査	ケニア国は，リフト渓谷の地熱有望地域についての調査と同国人地熱技術者の育成，天然資源省に地熱課設置のための指導をわが国に要請してきた。このため昭和５３年度は要請意図の確認，予定地熱開発地域の踏査，地熱開発実施体制の調査，および関連資料収集のための事前調査を実施した。 昭和５４年度は，地質調査，地化学調査，物理探査等の現地調査を実施し，５５年度は引続き現地調査を実施したほか，７トン積み四輪駆動トラック１台と電気探査機器一式の機材供与を行った。 昭和５６年度は，電気探査，地化学探査を行い，ケニア側実施予定の 400 m ボーリング掘削地点の再確認を行った。	53	海（事前）	54. 2. 1～54. 2. 23	6	15,742
			54	海	54. 10. 22～54. 11. 15	3	44,263
			〃	海	54. 12. 3～55. 3. 10	6	
			55	海	（国内作業・報告書作成）	0	1,820
			〃	海	55. 7. 26～56. 2. 15	8	78,896
			56	海	57. 1. 20～57. 3. 30	4	24,616
6	中近東・アフリカ諸国鉱工業プロジェクト・フォローアップ調査	中近東アフリカ一般を参照のこと。 （エジプト，ケニア）	55	海	56. 2. 27～56. 3. 14	(4)	(3,675)
			56	海			(28)

〔開発協力方式技術協力〕

投融資審査等調査

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
農業投融資審査等調査	（ケニア，マダガスカル） 中近東アフリカ一般を参照のこと。	52	投融資審査等調査	53. 3. 14～53. 3. 31	(2)	(1,146)
		53				(6)
鉱工業投融資審査等調査	（ケニア，ザイール） 中近東アフリカ一般を参照のこと。	52	投融資審査等調査	53. 3. 22～53. 3. 31	(3)	(1,328)
		53				(6)
ケニア，ザイール投融資審査等調査	（ケニア，ザイール） 中近東・アフリカ一般を参照のこと。	55	投融資審査等調査	55. 9. 27～55. 10. 13	(3)	(1,383)

ケニア

〔無償資金協力〕

実施促進調査

番	対象案件名	概　　要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	イタンガ上水道計画	本邦企業とケニア国政府との間の契約の締結に関し，調査，斡旋，連絡を行うとともに契約の実施状況につき調査を行った。	53	54. 2. 18～54. 3. 6	1	1,144
2	ケニア・ケニアッタ農工大学建設計画 サントメ・プリンシペ・社会環境整備計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （ケニア，サントメ・プリンシペ）	55	55. 11. 19～55. 12. 8	(3)	(2,852)
3	ルワンダ・国道整備計画 ケニア・医療器具供給計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （ルワンダ，ケニア）	56	56. 12. 2～56. 12. 18	(2)	(1,435)
4	ケニア・地下水開発計画 タンザニア・漁業振興計画，キリマンジャロ農業開発計画，工業開発センター計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （ケニア，タンザニア）	56	57. 3. 12～57. 3. 27	(3)	(2,891)

レソト

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	—		1,086		—		2,629	2	—		—		943	1	4,658	4
専門家	—		—		—		—		—		—		—		—	
調査団	—		—		—		—		—		—		—		—	
協力隊	—		3,132		3,224		5,325		1,401		—		—		13,082	
機材供与	—		—		—		—		—		—		—		—	
その他	—		—		—		—		—		—		—		—	
合計	—		4,218		3,224		7,954		1,401		—		943		17,740	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	4		2				2															4,658
専門家																						—
調査団																						—
協力隊																						13,082
機材供与																						—
その他																						—
合計																						17,740

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
51年度	1						1															1,086
52 〃																						
53 〃	2		2																			2,629
54 〃																						
55 〃																						
56 〃	1						1															943
合計	4		2				2															4,658

レソト

青年海外協力隊派遣事業

レソト

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
50年度																						
51 〃	(U)2							(U)1			(U)1											3,132
52 〃																						3,224
53 〃																						5,325
54 〃																						1,401
55 〃																						
56 〃																						
合計	(U)2							(U)1			(U)1											13,082

(注) (U)はUNVである。

リベリア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	17,370	13	24,160	11	9,379	6	14,386	7	49,356	16	27,624	10	56,174	18	198,449	81
専門家	—		9,518	1	9,897	2	56,664	13	101,477	3	70,714		16,859		265,129	19
調査団	40,054	8	—		7,743	3	94,751	20	135,991	13	64,137	19	120,361	12	463,037	75
協力隊	1,153		—		—		2,138		28,986	7	22,082		8,530	7	62,889	14
機材供与	—		1,841		2,121		12,098		56,369		30,893		17,619		120,941	
その他	376		123		778		4,314		2,422		3,157		1,788		12,958	
合計	58,953		35,642		29,918		184,351		374,601		218,607		221,331		1,123,403	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	81	2	5	1	5	7	20	18	3			1	1		8	1	1		7	1		198,449
専門家	19			1		8	3	5									1		1			265,129
調査団	75					33								28					14			463,037
協力隊	14	1					2	3					2				6					62,889
機材供与																						120,941
その他																						12,958
合計																						1,123,403

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

リベリア

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
48年度																						
49 〃	6				1	1	3								1							6,942
50 〃	7						4	2							1							10,428
51 〃	11	1			1	1	5	1					1		1							24,160
52 〃	6						2	2							1				1			9,379
53 〃	7	1		1				2							2				1			14,386
54 〃	16		1		1	3	2	3	2						2		1		1			49,356
55 〃	10		2		1	1	1	4	1													27,624
56 〃	18		2		1	1	3	4				1				1			4	1		56,174
合計	81	2	5	1	5	7	20	18	3			1	1		8	1	1		7	1		198,449

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
51年度	( )1																1					11,359
52 〃	(2) 2			1		1	(2) 5															12,018
53 〃	12					7	3															60,347
54 〃	3																					152,582
55 〃	(1)						(1)															85,036
56 〃																						18,807
合計	(3) 18			1		8	(3) 8										1					340,149

（注） カッコは国際機関専門家で外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
47年度	U(1)							U(1)														598
48 〃																						263
49 〃																						390
50 〃																						
51 〃																						
52 〃																						410
53 〃																						3,640
54 〃	7						1	1					2				3					35,318
55 〃																						38,686
56 〃	C(1) 6	C(1)					1	2									3					18,264
合計	C(1)U(1) 13	C(1)					2	U(1)3					2				6					97,569

(注) Cは調整員，UはUNVで外数である。

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
病院整備計画		53					—	1	1,777			1,777

保健医療協力事業（特別機材）

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
保健省		53								救急車	5,136	5,136

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

リベリア

No.	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	開発調査プロジェクト選定確認調査	（象牙海岸，リベア，セネガル） 中近東アフリカ一般を参照のこと。	50	事前調査	50.10.12～50.10.22	(3)	(1,325)
2	Gbarnga-Medikoma道路建設計画調査	リベリア国北西部のバンガ～メディコマ間（約280 Km）道路は同国主要幹線4本のうちの一つであるが，現在は2級ラテライト道路として計画・建設されており，これを一級道路とすることを計画している。本地域は世銀融資による農村開発計画による農業振興が図られるとともに，Wologisi 鉄鉱山の開発の影響がおよぶ地域で，重点開発地域となっている。昭和53年度は事前調査および本格調査に必要な地形図作成のための空中写真撮影を行った。 昭和54年度は，F/S調査を実施し，ファイナルレポートをリベリア国政府に提出した。	53	事前調査	54. 2.12～54. 3. 1	4	4,307
			〃	実施調査	（国内作業）	0	8,823
			54	実施調査	（国内作業）	0	124
			〃	実施調査	54. 6.25～54. 9.11	10	99,554
			〃	報告書説明	55. 2. 3～55. 2.17	3	
			55	実施調査	（報告書作成）	0	264
3	産院建設計画基本設計調査	全国的な産院の活動内容を的確に把握し，その中央となる産院の建設計画を策定し，資機材調達計画を作成するもので，昭和55年度は基本設計調査を実施し，基本設計書を作成した。	55	特	55.12. 5～55.12.19	4	19,495
			〃	特	56. 1.23～56. 2.12	6	
			〃	特（報告）	56. 3.20～56. 3.29	4	
			56	特	（調査業務実施費）	0	22,628

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	（ガーナ，象牙海岸，リベリア，ナイジェリア，ザイール）中近東・アフリカ一般を参照のこと。	49	海	49.11.15～49.12.2	(2)	(486)
2	電源開発基礎調査	リベリア共和国におけるモンロビア系統を中心とした電力事情調査および同国の一般経済事情に係る資料の収集検討を行うとともに，水力発電可能地点についての現地調査を実施した。	49	海	50.3.5～50.3.25	7	14,137
			50	海	50.9.26～50.10.5	1	23,924
3	セントジョン川水力発電計画調査	昭和49年度から昭和50年度にかけて行った電源開発基礎調査において，開発可能地点としてセントジョン川の二地点が勧告された。その後，リベリア政府から当該地点の地形図の作成を含むフィージビリティー調査につき，わが国に協力の要請があったもの。昭和53年度は，地形図作成を目的とし，同国政府と打合せを行うため，予備調査を実施し，同国測量事情，測量実施区域，作業計画，リベリア側との作業分担等の確認を行った。 昭和55年度は同計画の調整に必要な10,000分の1の地形図作成に要する25,000分の1の航空写真の撮影と地上測量作業に必要な基礎資料の収集，地上測量の水準作業の一部を実施した。 昭和56年度は10,000分の1の地形図作成に必要な現地調査および国内解析を実施した。	52	海(予備)	53.2.26～53.3.30	3	6,474
			55	海	55.11.8～56.3.1	5	44,347
			56	海	56.11.11～57.2.28	12	102,449

〔開発調査方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
ウォロギシ鉄鉱山開発関連施設整備計画調査	リベリア共和国はクア郡に位置するウォロギシ鉄鉱山（可採鉱量680百万t）については，日本企業グループが主体となり1984年操業開始を目途として開発計画が進められている。融資の具体的可能性のある開発関連施設の整備計画のうち，まずアクセス用既存道路につき，昭和53年6月，ついで港湾および製品搬出用新設道路につき，昭和53年11月それぞれ現地調査団を派遣して技術的，経済的調査を実施した。	53	関連施設整備調査	53.6.17～53.7.30	6	38,467
		〃	〃	53.11.5～53.12.24	5	17,528
		〃	〃	53.11.5～53.12.31	7	24,435
		54		（同上報告書作成・技術費）		35,245

〔無償資金協力〕

実施促進調査

	No.	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
リベリア	1	リベリア・モンロビア病院設立計画 シェラ・レオーネ，漁業振興計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （リベリア，シェラ・レオーネ）	56	56．6.29～56．7.11	(2)	(1,221)

マダガスカル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	11,817	17	9,707	5	12,314	6	6,094	4	7,410	5	9,080	6	11,852	6	68,274	49
専門家	71,164	11	11,889		24,004	2	30,423	4	41,193		57,784	3	53,080	2	289,537	22
調査団	112,457	45	4,381	3	43,447	19	48,338	21	66,700	12	98,516	26	15,616	2	389,455	128
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	7,038		10,348		8,385		55,816		46,147		87,625		56,291		271,650	
その他	1,954		986		2,938		3,092		1,817		4,819		1,150		16,756	
合計	204,430		37,311		91,088		143,763		163,267		257,824		137,989		1,035,672	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	49	1	1		4	2	14	5	6	2	3	2	3	4		1					1	68,274
専門家	22	1				1		7	12												1	289,537
調査団	128			19		13	15		42		6	7		22							4	389,455
協力隊																						—
機材供与																						271,650
その他																						16,756
合計																						1,035,672

マダガスカル

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
40年度	1							1														
41 〃																						
42 〃																						
43 〃	5							1						4								509
44 〃																						1,098
45 〃	2								1		1											1,332
46 〃																						
47 〃	1					1																663
48 〃	3						2	1														2,197
49 〃	2				1		1															2,218
50 〃	3				1		2															3,800
51 〃	5				1		1	2		1												9,707
52 〃	6					1	1			1			3									12,314
53 〃	4				1		1									1					1	6,094
54 〃	5	1					3		1													7,410
55 〃	6						1		2		2	1										9,080
56 〃	6		1				2		2			1										11,852
合計	49	1	1		4	2	14	5	6	2	3	2	3	4		1					1	68,274

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
41年度	4							2	2													5,144
42 〃																						
43 〃																						2,025
44 〃	3								3													452
45 〃	2					1															1	2,637
46 〃																						9,568
47 〃																						6,581
48 〃	2							2														19,474
49 〃																						16,129
50 〃																						16,192
51 〃																						11,889
52 〃																						3,269
53 〃																						
54 〃																						
55 〃																						1,132
56 〃																						322
合計	11					1		4	5												1	94,814

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	養蚕用機材	養蚕研究開発庁	51	10,348
2	養蚕研究機材	国立養蚕センター	54	5,620
計	2 件			15,968

〔プロジェクト方式技術協力〕

農林業協力事業

マダガスカル

プロジェクト名	概要	年度	調査団 調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	専門家 人数 継続	人数 新規	経費（千円）	機材供与 主要機材名	経費（千円）	経費総額（千円）
畜産開発 The Livestock Development in Northern Madagascar 協定等の種類：R/D 署名年月日：52.11.11 協力期間 （当初） 52.11.11～55.11.10 （延長） 55.11.11～58.11.10	マダガスカル政府は，昭和48年5月同国北部地方の畜産振興計画について日本政府の協力を得たい旨要請してきた。 これに応えわが国は，昭和48年8月に予備調査団を派遣し，さらに昭和50年1月実施計画調査団の派遣を計画していたところ，マダガスカルにおいて政変が発生したため，同調査団の派遣は中止されたが，同年9月に派遣された。本件調査は政変によって48年当時の協力要請に変更がないか否かの確認，変更なしとした場合の協力事業実施の可能性の検討が行われた。 昭和51年3月には実施設計調査団を派遣し，上記実施計画調査による基本計画の実施細部に関して，家畜衛生，畜産，飼料作物栽培，水飲場設置について詳細設計を行うことが予定されたが，マダガスカル側の事情もあって水飲場設置に関し，水源の物理的探査のみに限定して実施された。次いで昭和52年10月に巡回指導チームを派遣し，11月11日討議議事録に署名するとともに，マダガスカル政府関係者と事業実施計画等について協議した。 本件プロジェクトは，北部ディエゴスワレス州のディエゴスワレス，アンビロベ，ボヘマールの3地域を拠点として，飼育管理，家畜衛生，飼料生産等の畜産技術の改	48	事前調査		4	3,749						3,749
		49										0
		50	実施計画	50.9.16～50.10.8	4	(実) 136 5,290						15,569
		〃	実施設計	51.3.20～51.4.20	4	10,143						
		51	計画打合せ	52.3.29～52.4.1	3	(実) 163 4,218						4,381
		52				(報) 7,356						42,821
		〃	巡回指導	52.10.22～52.11.14	4	6,344	—	2	16,151	牧柵，トラクター ランドクルーザー	(機) 4,585 8,385	
		53									(開発技術協力費) 8,810	8,810
		〃				113	—	3	30,423		47,006	77,542
		54	巡回指導	55.3.14～55.4.9	4	5,193	4	—	41,193	畜産機材	40,527	86,913
		55	(同上 過年度精算)			273						52,594
		〃	エバリュエーション	55.9.5～55.9.29	5	9,474	4	3	55,222	家畜衛生機材， 井戸掘機材	(機) 691 86,934	
		56	計画打合せ	56.7.23～56.8.7	2	3,492	5	2	52,770	農業機械，薬品 家畜衛生機材	(機) 269 56,022	112,553

（注）昭和52年までの実績数は開発技術協力費による実績数である。

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家			機材供与		経費総額（千円）
			調査の種類	調査期間	人数	経費（千円）	人数 継続	人数 新規	経費（千円）	主要機材名	経費（千円）	
	善，および放牧家畜用井戸掘削に関して協力を実施するものである。 昭和55年9月には，エバリュエーションチームを派遣し，過去3年の協力実績を検討すると共に当初の目標達成のため協力期間を3年間延長することとした。 〔カウンターパート受入実績〕 年度 54 55 56 人数 1 2 3											

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	南部マイクロ回線建設計画調査	マダガスカル国は，南部マイクロ回線（首都タナナリブよりフィナランツォアを経てチュレアルに至る約780 Km）の建設を計画し，フィージビリティー調査をわが国に要請してきた。これに基づき，置局選定，システムデザイン，経済評価，保守運営の実施調査を行い，ドラフト・ファイナル・レポートを作成のうえ，現地説明を行った。	52	実施調査	52. 7.24～52. 9. 4	10	32,039
			〃	実施調査	52.12.10～52.12.23	5	
			53	実施調査		0	49
2	国道5号線改良計画調査	国道5号線はマダガスカル国東岸部の中央に位置し，同国第3の国際港湾都市クマタブより東部海岸沿いに北上し，マロアンツェトラに至る総延長約400 Kmの道路で，コーヒー，バニラ，丁子，米等農産品の搬出路として重要な役割を果たす大動脈であるが，100 Kmだけが車道幅5.5 mの舗装区間である。未舗装区間のうちソアニエラナ・イボンゴ～マロアンツェトラの240 Kmの線形改良，橋梁建設，舗装等の改良計画のF／Sを今回実施しようとするもので，昭和53	53	事前調査	53.10.14～53.11. 3	5	5,908
			54	実施調査	54.10. 4～54.12.31	8	47,324

番号	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		年度は事前調査を実施し，引き続き５４年度は本格調査を実施し，ファイナル・レポートを作成した。なお，残りの６２Km部分はクウェイト基金の融資により1979 年に工事完了の予定となっている。					
3	ディエゴスワレス畜産指導センター建設基本設計調査	昭和５３年６月，マダガスカル政府からAntsiranana（旧ディエゴスワレス）畜産技術指導センターの建設に関し，日本側の無償資金協力の要請がなされた。日本政府はこの要請の妥協について検討するため現地事情の確認，必要とする施設内容の策定等基本設計のための諸調査を目的とする調査を実施した。 昭和５３年１１月２８日から１２月２７日の間本隊を派遣し，マ政府関係者に無償資金協力に関する概要説明を行い，本件実施に関するマ側の希望聴取，マ側の実施体制の確認，マ側のセンター利用計画，マ側分担業務等の確認，プロジェクトサイトの環境，マ国の建設事情，業界の事情等の確認調査，日本人技術協力専門家の意見聴取等を実施のうえ帰国した。これらを総合検討の結果，基本設計ドラフト作成のうえ，昭和５４年２月２４日～３月８日の間説明チームを派遣しマ側の意見聴取のうえ，ドラフトの修正を行い基本設計を完了した。	53	特	53.11.28 ～ 53.12.27	6	33,047
			〃	特(報告)	54. 2.24 ～ 54. 3. 9	3	
			54	特		0	813
4	地下水開発計画調査	マダガスカル国南部は慢性的水不足の乾燥地帯であり，とくに同国南端のカリンボラ高原およびアンボボンベ盆地においては，浅井戸もしくは天水貯溜による用水確保法のみが唯一の手段であり，住民の生活安定化および農牧業の発展が遅れている。このため同地域住民への生活用水の確保を図るための方策についての調査要請があり，昭和５３年度はＳ／Ｗ協議および必要な資料の収集を行った。	53	事前調査	54. 3.22 ～ 54. 4.11	6	9,036
			54	事前調査		0	1,287
			〃	実施調査			10,266
5	南部地域生活用水開発計画調査	南部地域アンボボンベ盆地の住民に生活用水の確保と供給を目的とした開発計画調査を実施し基本設計書を作成した。	55	特	55. 7.11 ～ 55. 9. 8	8	63,531
			〃	特	55. 8.29 ～ 55. 9. 8	1	
			〃	特	55.11.21 ～ 55.12. 2	4	
6	水産振興計画基本設計調査	同国北西部の漁業振興に寄与するため，マジャンガ・ノシベ・アンツェラナナの３拠点を中心に，ＥＲＰ漁船・漁網漁具・冷凍保蔵施設・流通機材等の配置による生産から流通までの一貫した漁業振興モデル体系を作成した。	55	特	55. 8.29 ～ 55. 9.15	7	24,069
7	漁業振興計画調査	漁業振興を目的とした漁船，漁具・漁網等の供与計画に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56.10. 8 ～ 56.11. 3	5	20,963

海外開発計画調査事業

マダガスカル

No.	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	プロジェクト選定確認調査	②（ケニア，マダガスカル，タンザニア） 中近東・アフリカ一般を参照のこと。	48	海	49. 2.21 ～ 49. 3.11	(2)	(585)
2	鉱物資源調査	同島の未利用鉱物資源開発のため，基礎的資料，情報を入手し，検討のための各種鉱床踏査。	38	海	39. 3.28 ～ 39. 6. 1	7	9,664
			39	海		0	635
3	電源開発計画調査	Fianarantsoa 地域における水力開発の可能性に関する基礎調査の実施と今後の開発方針につき勧告。	40	海	40. 9.28 ～ 40.11.16	6	9,421
4	ナモロナ川水力開発計画調査	南東部マナカラ県内を流れるナモロナ川上流水力開発計画調査。	45	海	45.11. 4 ～ 45.12. 7	9	19,839
5	ロジェ水力発電開発計画調査	ロジェ水力発電開発計画は，マダガスカル中部を東に流れるボヒトラ川の最も有利な地点を利用して，一連の水力発電を行うものであり，ボヒトラ川上流アンデカレカ地点に計画中のロジェ水力発電計画について，同国における電力需要想定，本計画に関連するフェロ・クローム精錬設備開発計画調査，経済的検討，アンデカレカ地点の最適開発計画とその施行計画及び資金計画などについて，現地調査を行った。	49	海	49. 8.29 ～ 49.10.11	8	47,373

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
アントニーベ地域肉牛開発事業	マダガスカル国は，経済発展の基幹産業として畜産振興に重点をおいており，同国北部地域の肉牛開発についてわが国に要請をしてきた。わが国は，この要請にこたえ協力を行うことは，マダガスカル国の肉牛資源の維持増殖に役立つとともに，今後，わが国の牛肉輸入先の多元化に役立つものとしてその意義は高いものと考えられた。 以上の経緯にかんがみ，本件はアントニーベ地域に肉牛の繁殖育成肥育の一貫生産と子牛導入肥育方式を併用した新しい技術の導入による肉牛開発を目的とする畜産開発基本計画作成のための基礎調査である。	50	開発基礎調査	50. 9.16 ～ 50.10. 8	4	6,206

マダガスカル

投融資審査等調査

プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
農業投融資審査等調査	（ケニア，マダガスカル）	52	投融資審査等調査	53．3.14～53．3.31	(2)	(1,146)
	中近東・アフリカ一般を参照のこと。	53				(6)

〔開発投融資〕

融資承諾年月	事業名	事業地	本邦事業者	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額					貸付実行額		グラント・エレメント（%）	備考
					金利（%）	返済期間（）内据置年	承諾額（百万円）	契約年月	契約額（百万円）	年度	実行額（百万円）		
53．1.31	豆類試験事業	タナナリブ州マロヴァイ地区		100ha ささげ，いんげん	0.75	20(5)	96.2	52．3.13	64.3	52	30.8		
										53	9.4		
										54	24.1		
					0.75	18(3)		55．8.15	31.9	55	31.9		

〔無償資金協力〕

実施促進調査

No.	対象案件名	概　　要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	アンティラナナ畜産技術技導センター	本邦企業とマダガスカル国政府との間の契約の締結に関し，調査，斡旋，連絡を行うとともに契約の実施状況につき調査を行った。	54	55．4．6～55．4.15	2	1,818
2	コモロ・海難漁民救助計画 モーリシャス・漁業研究センター建設計画 マダガスカル・零細漁民振興計画，アンティラナナ畜産技術指導センター設立計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （コモロ，モーリシャス，マダガスカル）	55	56．2.18～56．3.13	(2)	(1,060)
3	マダガスカル・零細漁民育成計画，アンティラナナ畜産技術指導センター計画 コモロ・沿岸漁業振興計画，海難漁民救助計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （マダガスカル，コモロ）	56	57．2．8～57．2.23	(2)	(1,632)

マラウイ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	3,034	2	2,196	2	4,759	1	1,799	1	2,294	2	3,629	2	11,217	5	28,928	15
専門家	27,379	2	13,976		15,316	1	29,543	3	42,780	1	47,313		35,807		212,114	7
調査団	2,230		312		54,114	11	1,761		3,773		2,312		945		65,447	11
協力隊	275,144	85	156,800	34	189,581	26	221,804	45	310,092	53	379,729	84	488,116	48	2,021,266	375
機材供与	47,146		13,682		21,747		19,263		29,262		49,462		39,870		220,432	
その他	128		216		1,380		472		540		--		511		3,247	
合計	355,061		187,182		286,897		274,642		388,741		482,445		576,466		2,551,434	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	15						4	8							2					1		28,928
専門家	7					2		3			2											212,114
調査団	11												11									65,447
協力隊	375		10	2	16	82	17	16	7	2	5		35	1			84	1	86		11	2,021,266
機材供与																						220,432
その他																						3,247
合計																						2,551,434

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

マラウイ

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
45年度	1							1														1,484
46 〃																						
47 〃																						
48 〃																						
49 〃																						
50 〃	1							1														1,550
51 〃	2							2														2,196
52 〃	1						1															4,759
53 〃	1							1														1,799
54 〃	2						1								1							2,294
55 〃	2							1							1							3,629
56 〃	5						2	2												1		11,217
合計	15						4	8							2					1		28,928

専門家派遣事業

マラウイ

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
45年度																						1,437
46 〃																						
47 〃	1							1														
48 〃																						7,890
49 〃																						7,568
50 〃	1										1											15,686
51 〃																						15,653
52 〃	1										1											17,802
53 〃	3					1		2														30,464
54 〃	1					1																46,885
55 〃																						47,313
56 〃																						39,109
合計	7					2		3			2											229,807

マラウイ

青年海外協力隊派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
46年度	22		2	2	4	8	2						3	1								26,247
47 〃	15					9													6			28,215
48 〃	7				5	2																70,924
49 〃	19		1			3	2	2	1		1		2				3		4			88,517
50 〃	22					6	1	1					6				4		4			105,415
51 〃	34				1	9	2	2			1		2				8		8		1	169,117
52 〃	26		2		4	7		2	2				2				3		4			210,262
53 〃	45				2	6	2	3	1				2				8		16		5	234,364
54 〃	53		3			8	2		2		1		6				17		13		1	336,871
55 〃	84					16	3	2			2		1				31		26		3	431,503
56 〃	48		2			8	3	4	1	2			11				10	1	5		1	525,629
合計	375		10	2	16	82	17	16	7	2	5		35	1			84	1	86		11	2,227,064

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

番	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費（千円）
1	水産養殖研究用機材（ペレット作成機）	農業省水産局ドマシ養漁場	53	6,352
	（同上54年度支出分）		54	193
計	1件			6,545

〔開発調査方式技術協力〕

海外開発計画調査事業

マラウイ

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	ヌギャナ炭田開発計画調査	マラウイ国は，現在石炭消費の全量を輸入しており，エネルギー政策及び外貨節約の面からも，石炭開発の必要性があり，同国北部のヌギャナ炭田の開発計画につき，わが国に協力の要請をしてきたので，同国政府関係機関との折衝及び資料収集のため事前調査を実施した。 さらに，事前調査の確認事項により，地形図作成，関連インフラストラクチャーを含む現地調査を実施し，技術的，経済的可能性を調査し，報告書を作成し，現地説明を行った。	52	海(事前)	52．4.26～52．5．9	4	5,594
			52	海	52．7.23～52．9.16	6	47,100
			〃	海	53．1.14～53．1.27	1	

マ　　リ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	2,293	4	—		—		7,977	4	8,774	2	5,642	4	6,485	3	31,171	17
専門家	475	3	—		—		—		—		—		—		475	3
調査団	—		—		17,384	9	123,928	28	390,195	20	421,068	30	282,652	15	1,235,227	102
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	53		—		—		—		—		—		—		53	
その他	—		—		1,277		3,463		3,027		4,985		1,915		14,667	
合計	2,821		—		18,661		135,368		401,996		431,695		291,052		1,281,593	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	17			1		2	4	2				4	1				2				1	31,171
専門家	3						3															475
調査団	102	2		23		11		43				14		9								1,235,227
協力隊																						—
機材供与																						53
その他																						14,667
合計																						1,281,593

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	2					2																17
36 〃																						
37 〃																						
38 〃																						
39 〃																						
40 〃																						
41 〃																						
42 〃																						
43 〃																						
44 〃																						
45 〃																						
46 〃																						
47 〃																						
48 〃																						
49 〃	1						1															1,037
50 〃	1						1															1,239
51 〃																						
52 〃																						
53 〃	4											2					1				1	7,977
54 〃	2						1					1										8,774
55 〃	4						1	2									1					5,642
56 〃	3			1								1	1									6,485
合計	17			1		2	4	2				4	1				2				1	31,171

マリ

専門家派遣事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
47年度	3						3															53
48 〃																						
49 〃																						475
50 〃																						
51 〃																						
52 〃																						
53 〃																						
54 〃																						
55 〃																						
56 〃																						
合計	3						3															528

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

番	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	開発調査プロジェクト選定確認調査	開発調査事業を効率的に実施するため，各国の開発調査要請プロジェクトにつき内容を調査し，相手国のニーズを正確に把握するとともに，政府関係機関からプロジェクトの背景情報を聴取し，併せて資料の収集を行い，わが国が協力しうるプロジェクトの選定確認を行った。	52	事前調査	52.10. 8 ～52.10.19	2	3,127
2	地下水開発計画調査	マリ政府は，同国第6経済区25万㎢の住民の飲料水及び遊牧地整備の水確保のための地下水探査調査をわが国に要請越した。昭和52年度は要請のあった区域のうちGao, Tessalit, Kidal, Ansongo, Menaka, Bonrem の主要地区について踏査を行い，現地事情の把握及び関係資料の収集を行った。 昭和54年度は，Gaoサークルのボーリング調査，電気比低抗法調査，既存井戸の水文調査を実施した。	52	事前調査	53. 3.14 ～53. 4.16	7	13,398
			53	事前調査		0	1,247
			〃	実施調査	53.10.12 ～53.10.25	5	110,020
			〃	実施調査	54. 1.27 ～54. 3. 9	11	
			54	実施調査		0	82,000
			〃	実施調査	54.11.10 ～55. 3.30	12	283,342

番号	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）	マリ
		昭和５５年度は電気探査，ボーリング調査，既存井戸の改良調査を行った。	54	実施調査	55. 3. 7～55. 3.27	2		
		昭和５６年度は、前年度に引き続き、電気探査、ボーリングによる帯水層の揚水試験，水質検査および地下水理地質に関する情報収集等を行い，本件調査結果の中間報告書を作成した。	55	実施調査	55.10.27～56. 3.24	9	250,696	
			〃	実施調査	56. 2. 2～56. 3.22	2		
			56	実施調査	56.10.19～57. 3.23	8	247,650	
			〃	実施調査	57. 3. 1～57. 3.23	3		
3	バギンダ地区灌漑農業開発計画調査	わが国は昭和５５年２月に実施した同地区の予備調査結果に基づき，バマコ郊外バギンダ地区約4,000haの水利施設の改修と総合農業開発のフィージビリティー調査（F/S）を実施した。同プロジェクトは旧宗主国フランスにより1940年代に設立されたもので，1960年の独立以来，維持管理の技術，資金の欠乏から施設が老朽化し，農業生産性が極度に低下しているため，これを改修し，農業再開発により生産性の向上を図ろうとするものである。	53	予備調査	53.10.28～53.11.30	6		
			〃	事前調査	54. 1.18～54. 2.14	6	12,660	
			54	事前調査			2,209	
			〃	実施調査	55. 2.15～55. 3.19	6	22,644	
			55	実施調査	55. 8.19～56. 1.15	1	170,372	
			〃	実施調査	55. 9.15～56. 1.15	7		
			〃	実施調査	55.10.18～55.11.30	10		
			〃	実施調査	56. 3.10～56. 3.21	3		
			56	実施調査	56. 8.11～56. 8.24	4	33,642	

〔無償資金協力〕

実施促進調査

	番	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
マリ	1	モーリタニア・漁業振興計画 マリ・地下水開発計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （モーリタニア，マリ）	56	56．7.19～56.10．4	(2)	(1,361)

モーリタニア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態＼年度（経費及び人数）	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	—		—		—		1,285	1	1,872	1	6,026	2	2,264	1	11,447	5
専門家	5,777	4	312		6,908	3	11,754	3	42,019	1	33,506	1	48,547	4	148,823	16
調査団	—		—		—		—		3,614		1,156		27,132	7	31,902	7
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	—		—		44		49		10,218		13,467		16,979		40,757	
その他	533		—		383		371		540		167		1,532		3,526	
合計	6,310		312		7,335		13,459		58,263		54,322		96,454		236,455	

(2) 形態別・分野別

形態＼分野	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	5										2	1					1				1	11,447
専門家	16			1							15											148,823
調査団	7										7											31,902
協力隊																						—
機材供与																						40,757
その他																						3,526
合計																						236,455

モーリタニア

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
53年度	1																				1	1,285
54 〃	1																1					1,872
55 〃	2										1	1										6,026
56 〃	1										1											2,264
合計	5										2	1					1				1	11,447

専門家派遣事業

分野 / 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
50年度	4										4											5,777
51 〃																						312
52 〃	3										3											6,952
53 〃	3										3											11,803
54 〃	1										1											52,237
55 〃	1			1																		42,540
56 〃	4										4											60,044
合計	16			1							15											179,665

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

モーリタニア

番	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	漁業振興計画調査	モーリタニア回教共和国は，沿岸漁業振興について４地区からなる小規模沿岸漁業振興計画を策定し，同計画推進に必要な小型トロール漁船等漁業用機材の供与についての協力をわが国に要請してきた。この要請に基づき，昭和５４年度，同国に事前調査団を派遣した。	54	特(事前)	54.11.24～54.12.9	(5)	(3,614)
			55	特	（報告書作成）	0	134
			56	特	56.6.12～56.7.3	7	24,287

〔無償資金協力〕

実施促進調査

番	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	モーリタニア・漁業振興計画 マリ・地下水開発計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （モーリタニア，マリ）	56	56.7.19～56.10.4	(2)	(1,361)

モーリシャス

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

年度 / 経費及び人数 / 形態	29～50		51		52		53		54		55		56		累計	
	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）	経費（千円）	人数（人）
研修員	—		—		3,289	3	3,004	3	1,760	1	—		3,515	1	11,568	8
専門家	—		—		—		—		—		—		—		—	
調査団	—		—		71,290	20	78,349	26	146,514	23	65,010	11	—		361,163	80
協力隊	—		—		—		—		—		—		—		—	
機材供与	—		—		—		—		—		—		—		—	
その他	—		—		2,491		3,216		3,481		1,828		—		11,016	
合計	—		—		77,070		84,569		151,755		66,838		3,515		383,747	

(2) 形態別・分野別

分野 / 形態	人数累計（人）	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	8					6					1					1						11,568
専門家																						—
調査団	80					75					5											361,163
協力隊																						—
機材供与																						—
その他																						11,016
合計																						383,747

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野／年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費（千円）
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
51 〃																						
52年度	3					2										1						3,289
53 〃	3					3																3,004
54 〃	1					1																1,760
55 〃																						
56 〃	1										1											3,515
合計	8					6					1					1						11,568

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	道路建設計画調査	モーリシャス政府は，極端に砂糖生産に依存した経済構造を変革するため，農業生産の多様化および工業化の２つを目標に各種の開発計画をたてそれに必要なインフラ整備に力を注いでおり，ポートルイス～ボーバサン・リンクロードの建設のための資金供与をアフリカ開発銀行（AFDB）に対し要請した。アフリカ開発銀行はこれに対し融資の前段としてフィージビリティー調査の実施をモーリシャス政府と協議のうえ日本政府に要請してきた。ポートルイス～ボーバサン・リンクロードは延長約８Kmの新設道路で，鉄道廃線敷を利用する計画となっている。昭和５２年度は現地踏査を行いＴ／Ｒ及びＳ／Ｗについて協議を行う事前調査を実施した。	52	実施調査	52. 8.20 ～52. 9.13	5	71,290
			〃	実施調査	52.11.26 ～52.12.28	15	
			53	実施調査	53. 4.22 ～53. 5. 5	5	6,239
			〃	実施調査	（国内作業）	0	12,434
2	リングロード建設計画実施設計調査	本調査は昭和５２年および５３年度に実施したフィージビリティー調査に引き続いて，バーバッサン～ポートルイス間８Kmの道路計画の実施設計を行うもので，実施設計業務の実施に先立ち，モーリシャス政府およびアフリカ開発銀行と協議のうえ作業方針を確定した後，航空写真測量（撮影３２Km，縮尺１／7,000，基準点測量４点），路線測量（作成した地形図によって路線選定され	53	実施設計	53.10.14 ～53.11.18	9	59,676
			〃	実施設計	54. 1.20 ～54. 3.19	12	
			54	実施設計	54. 5.12 ～54. 7. 4	13	47,662
			〃	実施設計	54. 9.15 ～54.10.13	7	98,852
			〃	実施設計	55. 3. 1 ～55. 3.16	3	

モーリシャス

番	プロジェクト名	概　　要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
		た当該ルート）の中心線測量（２０ｍピッチ縦横断測量および渡河地点については深浅測量）を行った。 昭和５４年度は道路，橋梁，インターチェンジ，照明等の詳細設計および全般的な設計協議を行い，また入札関係書類の作成についても併せて行った。	55	実施設計	55．6.14～55．7．5	6	42,470
3	水産振興計画基本設計調査	同国の水産業振興を計るための基本設計調査を実施し，水産研究所の建設と同運営に必要な諸設備の供与機材等に関する基本設計書を作成した。	55	特	55.10.16～55.11．8	5	21,480

〔無償資金協力〕

実施促進調査

番	対象案件名	概　　要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績（千円）
1	コモロ・海難漁民救助計画， モーリシャス・漁業研究センター建設計画， マダガスカル・零細漁民振興計画， アンラィナナ畜産技術指導センター設立計画，	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 （コモロ，モーリシャス，マダガスカル）	55	56．2.18～56．3.13	(2)	1,060